

X M L コンソーシアム

第 3 回 総 会

議 案 書

2003 年 5 月 7 日(水)
於 東京コンファレンスセンター

目 次

議案事項

第1号議案 2002年度活動報告	
・ XMLコンソーシアム組織.....	1-1
・ 役員構成.....	1-2
・ 活動実績.....	1-4
第2号議案 2002年度収支報告	
・ 収支計算書.....	2-1
・ 貸借対照表・財産目録.....	2-2
・ 監査報告書.....	2-3
第3号議案 2003年度活動 / 予算計画	
・ 2003年度 基本方針.....	3-1
・ 2003年度 年間主要活動計画.....	3-1
・ 2003年度 予算計画.....	3-4
第4号議案 2003年度 理事 / 監事選任	
・ 2003年度 XMLコンソーシアム役員構成.....	4-1

添付資料

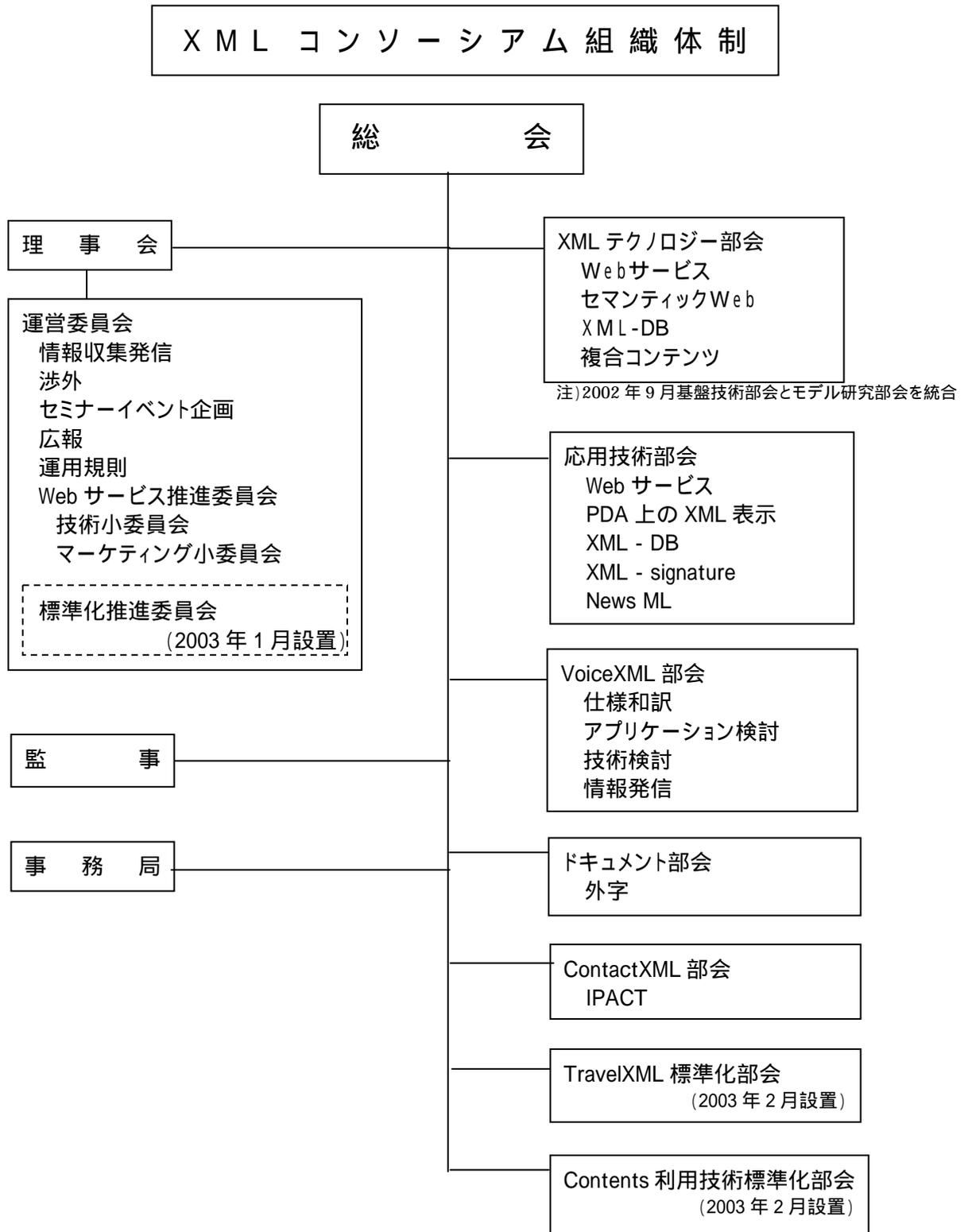
・ 2002年度 セミナー開催一覧.....	1
・ 2002年度 部会成果発表会一覧.....	4
・ 2002年度 部会開催一覧.....	7
・ 2002年度 普及度調査アンケート結果.....	9
・ 2003年度 XMLコンソーシアム組織.....	13
・ 2003年度 部会活動計画.....	14
・ 2003年度 Webサービス推進委員会活動計画.....	30
・ 2003年度 標準化推進委員会活動計画.....	38
・ 2003年度 会員会社一覧.....	40

第 1 号 議 案

2002 年 度 活 動 報 告

XMLコンソーシアム

1. 2002 年度 XMLコンソーシアム組織 (2003 年 3 月 31 日現在)



2. 2002 年度 XMLコンソーシアム役員構成

(敬称略・会社名順 2003 年 3 月 31 日現在)

【理事】

上野 守生 (ウエノ モリオ)

会 社 名: 亜細亜証券印刷株式会社
役 職: 代表取締役社長

下川 和男 (シモカワ カズオ)

会 社 名: イースト株式会社
役 職: 常務取締役

平野 洋一郎 (ヒラノ ヨウイチロウ)

会 社 名: インフォテリア株式会社
役 職: 代表取締役社長

Mark Batt (マーク バット)

会 社 名: 株式会社イーエスピー
役 職: 副社長 国際営業開発部担当

長野 宏宣 (ナガノ ヒロノブ)

会 社 名: NTTコムウェア株式会社
役 職: 取締役 BI 本部ビジネス企画部長

鶴保 征城 (ツルホ セイシロ)

会 社 名: NTTソフトウェア株式会社
役 職: 代表取締役社長

山田 伸一 (ヤマダ シンイチ)

会 社 名: 株式会社NTTデータ
役 職: ビジネス開発事業本部 基盤システム事業部 事業部長

塩川 公男 (シオカワ キミオ)

会 社 名: 株式会社大塚商会
役 職: 取締役 Web 事業推進部

植松 裕次 (ウエマツ ユウジ)

会 社 名: サン・マイクロシステムズ株式会社
役 職: 取締役 システム技術担当

浮川 初子 (ウキガワ ハツコ)

会 社 名: 株式会社ジャストシステム
役 職: 代表取締役専務

金成 元夫 (カネナリ ユキオ)

会 社 名: 東芝 ITソリューション株式会社
役 職: 共通ソリューション第四部 担当部長

田原 春美 (タハラ ハルミ)

会 社 名: 日本アイ・ピー・エム株式会社
役 職: ソフトウェア事業部 エマージング・テクノロジープログラム担当 部長

鈴木 俊宏 (スズキ トシヒロ)

会 社 名: 日本オラクル株式会社
役 職: コアテクノロジー本部 COE 担当ディレクター

笠原 裕 (カサハラ ヒロシ)

会 社 名: 日本電気株式会社
役 職: NECソリューションズ ソリューションズ開発研究本部 インターネット基盤開発本部 開発本部長

大津山 隆 (オオツヤマ タカシ)

会 社 名: 日本ビューレット・パカード株式会社
役 職: ビジネスクリティカルシステム統括本部 インフラストラチャソリューション本部
プログラムマネージャー

丸山 修 (マルヤマ オサム)

会 社 名: 日本ユニシス株式会社
役 職: 執行役員 Eテクノロジー & サービス部長

小塚 潔 (コヅカ キヨシ)

会 社 名: 株式会社日立製作所
役 職: ソフトウェア事業部 エグゼクティブプロジェクトマネージャ

山本 章治 (ヤマモト ショウジ)

会 社 名: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
役 職: 常務取締役 開発事業部 事業部長

浜 文男 (ハマ フミオ)

会 社 名: 富士ソフト ABC 株式会社
役 職: 専務取締役

弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)

会 社 名: 富士通株式会社
役 職: プロジェクト A-XML プロジェクト長

三ヶ野原 敏郎 (ミカノハラ トシロウ)

会 社 名: マイクロソフト株式会社
役 職: 執行役員 社長室長

【監事】

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)
会 社 名: 株式会社ジャストシステム
役 職: 社長室 部長
水谷 学 (ミズタニ マナブ)
会 社 名: ビーシーエー株式会社
役 職: 開発技術担当 CTO

会 長
NTTソフトウェア株式会社 鶴保 征城
副会長
インフォテリア株式会社 平野 洋一郎
日本アイ・ピー・エム株式会社 田原 春美
事務局長
富士ソフト ABC 株式会社 田中 一彦

運営委員会
イースト株式会社 下川 和男
インフォテリア株式会社 平野 洋一郎
NTTソフトウェア株式会社 村田 憲司
奥山 信輔
株式会社NTTデータ 遠城 秀和
株式会社大塚商会 岡部 恵造
都志 陽介
阿部 一博
株式会社ジャストシステム 澤崎 章二
日本アイ・ピー・エム株式会社 田原 春美(運営委員会議長)
武用 佳哲
日本オラクル株式会社 鈴木 俊宏
鈴木 潤一
日本電気株式会社 西野 陽一郎
杉山 高弘
日本ユニシス株式会社 阪口 喜好
藤城 雄二
株式会社日立製作所 大場 みち子
坂川 浩二郎
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
中村 輝雄
豊永 正人
富士通株式会社 松下 嘉哉
マイクロソフト株式会社 長崎 敏樹

3. 2002 年度 活動実績

1. 会員数 : 2003 年 3 月 31 日 267 社

2. 活動実績

(1) 総会開催

第 2 回総会

開催日時 2002 年 6 月 5 日
開催会場 東京コンファレンスセンター(東京 飯田橋)
総会参加 90 社 121 名

2002 年度臨時総会

開催期間 2003 年 1 月 24 日から 2 月 7 日
議決方法 審議票を FAX にて回収
審議票回収 225 社(会員数: 263 社、回収率 85.6%)

(2) 理事会及び運営委員会開催

・理事会 : 年次 2 回
2002 年 6 月 5 日 2002 年 12 月 12 日(臨時)

・運営委員会 : 月次 15 回 + 総会準備 3 回

2002 年 4 月 11 日	2002 年 10 月 10 日	2003 年 3 月 13 日
2002 年 5 月 9 日	2002 年 11 月 14 日	-----
2002 年 5 月 20 日(臨時)	2002 年 11 月 29 日(臨時)	2003 年 4 月 17 日
2002 年 5 月 27 日(臨時)	2002 年 12 月 3 日(臨時)	2003 年 4 月 24 日(臨時)
2002 年 7 月 11 日	2002 年 12 月 10 日	2003 年 4 月 30 日(臨時)
2002 年 7 月 30 日	2003 年 1 月 9 日	
2002 年 9 月 13 日	2003 年 2 月 13 日	

・Web サービス推進委員会: 月次 11 回 + 総会準備 1 回

2002 年 4 月 11 日	2002 年 10 月 10 日	2003 年 3 月 13 日
2002 年 5 月 9 日	2002 年 11 月 14 日	-----
2002 年 7 月 11 日	2002 年 12 月 10 日	2003 年 4 月 17 日
2002 年 7 月 30 日	2003 年 1 月 9 日	
2002 年 9 月 13 日	2003 年 2 月 13 日	

(3) セミナー開催 :

・月例セミナー 9 回

会員	598 社	1163 名
非会員	143 社	157 名
プレス	6 社	7 名
合計	747 社	1327 名

添付資料 2002 年度セミナー開催 参照

・ビデオセミナー(広島) : 7 回

(4) 部会活動成果発表

・中間成果発表会(XML コンソーシアム Day) : 2 回

・2002 年 11 月 7-8 日
・2003 年 3 月 4-5 日

会員	209 社	320 名
非会員	79 社	86 名
合計	288 社	406 名

添付資料 2002 年度部会成果発表会開催

・部会成果発表会(XML コンソーシアム Week) : 1 回

2002 年 5 月 27 日 ~ 6 月 14 日 計 6 日間

会員	425 社	662 名
非会員	286 社	315 名
合計	711 社	977 名

添付資料 2002 年度部会成果発表会開催

(5)啓蒙・広報・宣伝活動 :

XML コンソーシアム エバンジェリストの追加選任	10 名
イースト株式会社	下川 和男 様
インフォテリア株式会社	江島 健太郎 様
株式会社エヌピーシーシステムドットコム	赤井 寧子 様
ドコモ・システムズ株式会社	大野 邦夫 様
日本アイ・ピー・エム株式会社	米持 幸寿 様
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏 様
日本ユニシス株式会社	牧野 友紀 様
株式会社日立製作所	大場 みち子 様
富士通株式会社	木庭 袋圭祐 様
マイクロソフト株式会社	熊谷 恒治 様

広告掲載

・XML ビジネス白書 2003 翔泳社 2003 年 2 月刊

(6)外部団体との協業関係

アライアンスパートナー XBRLJapan
)標準化支援
社団法人 日本旅行業協会
財団法人 デジタルコンテンツ協会
Web サービス実証実験システム構築
社団法人 日本観光協会

(7)外部団体へのコンタクト

石油連盟
日本観光協会
日本旅行業協会
日本書籍出版協会
日本電子出版協会

(8)部会活動

部会メンバー登録状況 延べ総数	305 社	608 名
XML テクノロジー部会	84 社	188 名
応用技術部会	77 社	154 名
VoiecXML 部会	49 社	115 名
ドキュメント部会	54 社	85 名
ContactXML 部会	20 社	28 名
TravelXML 標準化部会	13 社	24 名
コンテンツ利用情報標準化部会	8 社	14 名

・部会リーダー・ミーティング 月次

・部会開催

基盤技術部会 4 回

(2002 年 9 月モデル研究部会と統合し XML テクノロジー部会に名称変更)

応用技術部会	10 回
モデル研究部会	4 回
(2002 年 9 月基盤技術部会と統合し XML テクノロジー部会に名称変更)	
VoiceXML 部会	6 回
ドキュメント部会	11 回
ContactXML 部会	6 回
XML テクノロジー部会	7 回
(2002 年 9 月基盤技術部会とモデル研究部会の統合により設置)	
TravelXML 標準化部会	1 回
(2003 年 2 月設置)	
コンテンツ利用情報標準化部会	1 回
(2003 年 2 月設置)	

添付資料 2002 年度部会開催 参照

(9)実証実験

- ・NewsML を利用した Web サービスの接続実験
- ・Web サービス観光情報集配信モデル構築

(10)標準化仕様策定

- ・ContactXML Version 1.1

(11)HomePage 更新

- ・デザインリニューアルオープン :2003 年 4 月 1 日
- ・コンテンツ更新(日時/随時)
 - 月例セミナー等開催案内
 - 部会開催案内
 - XML ステータス・レポート更新
 - 協賛・後援イベント案内掲載

(12)メーリングリスト

設置数	45
延べ登録者数	約 3200 名

(13)外部セミナーへの講師派遣 11 回 27 名(4 月以降 2 回 2 名)

- ・Web Services Japan2002 2002 年 5 月 15-16 日
 - Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
 - エバンジェリスト 鈴木俊宏 氏(日本オラクル)
- ・ICeTokyo2002/XMLWorld Conference 2002 年 5 月 21-22 日
 - Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
 - エバンジェリスト 小林茂氏(日本ユニシス)
 - エバンジェリスト 藤岡慎弥 氏(沖電気)
 - エバンジェリスト 野村直之 氏(ジャストシステム)
 - エバンジェリスト 菊田昌弘 氏(シナジーインキュベート)
- ・NetWorld+Interop2002Tokyo 2002 年 7 月 1-5 日
 - エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
 - エバンジェリスト 木庭袋圭祐 氏(富士通)
- ・エクセロン・フォーラム 2002 2002 年 7 月 30 日
 - エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
 - エバンジェリスト 野村直之 氏(ジャストシステム)
- ・広島 XML 技術セミナー及び XML 勉強会 2002 年 9 月 6 日
 - エバンジェリスト 江島健太郎 氏(インフォテリア)
 - 応用技術部会 藤原隆弘 氏(日本 IBM)
- ・XML Web サービス紹介 2002 年 9 月 26 日

- Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
 - ・XML マスターDay 2002 年 10 月 10 日
 - Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
 - ・情報化シンポジウム広島'02 2002 年 10 月 21-26 日
 - エバンジェリスト 野村直之 氏(ジャストシステム)
 - ・「新しいWebサービスの潮流」 2002 年 1 月 31 日 (財)しまね産業振興財団 しまね情報センター
 - XML コンソーシアム副会長 田原春美氏(日本 IBM)
 - XML コンソーシアム副会長 平野洋一郎氏(インフォテリア)
 - エバンジェリスト 米持幸寿 氏(日本 IBM)
 - ・NET&COM2003 2003 年 2 月 5-7 日
 - XML テクノロジー部会 天野富夫 氏(日本 IBM)
 - 応用技術部会 松山憲和 氏(PFUアクティブラボ)
 - 応用技術部会 藤原隆弘 氏(日本 IBM)
 - エバンジェリスト 大場みち子 氏(日立)
 - ・Developer Summit 2003 2003 年 2 月 20-21 日
 - Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
 - エバンジェリスト 木庭袋圭祐 氏(富士通)
 - エバンジェリスト 大場みち子 氏(日立)
 - エバンジェリスト 丸山 宏 氏(日本 IBM)
-
- ・UML Forum/Tokyo 2003 2003 年 4 月 16-17 日
 - エバンジェリスト 鈴木俊宏 氏(日本オラクル)
 - ・総務省研究会 第 1 回 「各省庁 IT 担当者向け XML/Web サービスセミナー」 2003 年 4 月 11 日
 - XML コンソーシアム副会長 平野洋一郎氏(インフォテリア)

(14)外部主催イベントに対する協賛/後援 11 回(4 月以降 1 回)

- ・「The Web Services Japan 2002」 後援
 - 会期:2002 年 5 月 15-16 日
 - 会場:パシフィコ横浜
 - 主催:日経コンピュータ、日経オープンシステム、日経インターネットテクノロジー、日経 Windows プロ
- ・ICeTokyo2002/XMLWorld Conference 後援
 - 会期:2002 年 5 月 21-22 日
 - 会場:ロイヤルパークホテル
 - 主催:IDG ジャパン
- ・NetWorld+Interop2002Tokyo 協賛
 - 会期:2002 年 7 月 1-5 日
 - 会場:幕張メッセ
 - 主催:IDG ジャパン
- ・エクセロン・フォーラム 2002 後援
 - 会期:2002 年 7 月 30 日
 - 会場:青山ダイヤモンドホール
 - 主催:日本エクセロン
- ・広島 XML 技術セミナー及び XML 勉強会 後援
 - 会期:2002 年 9 月 6 日
 - 会場:鯉城会館
 - 主催:広島県情報産業協会
- ・JNSA セキュリティセミナー 後援
 - 会期:2002 年 9 月 27 日
 - 会場:スクワール麹町
 - 主催:JNSA
- ・情報化シンポジウム広島'02 後援
 - 会期:2002 年 10 月 21-26 日
 - 会場:広島県情報プラザ鯉城会館

- 主催: 広島県情報産業協会
- ・'02XMLジャパン 協賛
会期: 2002 年 11 月 28-30 日
会場: 青山テピア
主催: サンブリッジ、ネットラーニング
- ・Internet World Asia 2002 後援
会期: 2002 年 12 月 4-6 日
会場: 東京ビッグサイト
主催: IDG ジャパン
- ・NET&COM2003 協賛
会期: 2003 年 2 月 5-7 日
会場: 幕張メッセ
主催: 日経 BP 社
- ・Developer Summit 2003 協賛
会期: 2003 年 2 月 20-21 日
会場: 青山ダイヤモンドホール
主催: 翔泳社

-
- ・UML Forum/Tokyo 2003 後援
会期: 2003 年 4 月 16-17 日
会場: 青山テピア
主催: OMGJapan

(15) プレス・リリース 4 回 (4 月以降 1 回)

- ・2002 年 6 月 13 日「NewsML を利用した Web サービスの接続実験に成功」
- ・2002 年 10 月 1 日「ContactXML Ver1.1 勧告を発表」
- ・2003 年 2 月 5 日「標準規格「TravelXML」(仮称)を日本旅行業協会と共同開発することを発表」
- ・2003 年 3 月 4 日「IPACT(XML による諸国間での郵便情報の標準化)の国内適用研究を目的とした IPACT WG を設立

-
- ・2003 年 5 月 7 日「XML コンソーシアム、日本観光協会の実データを利用し実用に即した Web サービスの検証実験に成功」

(16) プレス取材・執筆依頼 4 回 (4 月以降 3 回)

取 材

- ・月刊 PCWebzine 6 月号「IT スタandard通信」
「テクノロジーとマーケットの発展のために活躍するプロフェッショナル」
エバンジェリスト 鈴木俊宏 氏(日本オラクル)
- ・月刊アスキー「NewsML を利用した Web サービスの接続実験について」
応用技術部会リーダー 平野 光徳 氏(NTT コムウェア) その他部会関係者
- ・日経コンピュータ「Web サービスの実証実験について」
広報委員 鈴木潤一氏
エバンジェリスト 大場 みち子 氏(日立)
エバンジェリスト 小林 茂 氏(日本ユニシス) その他部会関係者
- ・日経BP社 日経オープンシステム「Web サービスについて」
広報委員 鈴木潤一 氏
エバンジェリスト 大場 みち子 氏(日立)
エバンジェリスト 小林 茂 氏(日本ユニシス) その他部会関係者

-
- ・ビジネスコミュニケーション「『XML コンソーシアム』と『Web サービス推進委員会』の活動について」
副会長 田原春美 氏(日本 IBM)
Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
 - ・日経BP社・日経コンピュータ「TravelXML について」
副会長 平野洋一郎 氏(インフォテリア)

- ・日経BP社・日経アドバンテージ「ビジネスを変える最新 IT」
Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
副会長 平野洋一郎 様 (インフォテリア)

執 筆 2 回

- ・電子商取引推進協議会 (ECOM)「インターネット EDI(XML/EDI) 導入手引書」
エバンジェリスト 小林 茂 氏(日本ユニシス)
- ・ビジネスコミュニケーション「XML の動向と技術等の方向性」
Web サービス推進委員会委員長 エバンジェリスト 岡部恵造 氏(大塚商会)
エバンジェリスト 小林 茂 氏(日本ユニシス)

(17)アンケート実施

- ・「XML・Web サービス普及度調査アンケート」2003 年 1 月 14 日～31 日実施
ホームページにて一般公開済み

第 2 号 議 案

2002 年 度 収 支 報 告

X M L コ ン ソ ー シ ア ム

収支計算書

平成 14 年 4 月 1 日 から 平成 15 年 3 月 31 日 まで

	予算	実績	差額	備考
1. 収入の部				
前年度繰越	8,430,278	8,760,869	330,591	
年会費	28,000,000	25,450,000	-2,550,000	100,000 × 244 社 50,000 × 21 社 合計 265 社
雑収入	0	319,851	319,851	
収入の部合計	36,430,278	34,530,720	-1,899,558	
2. 支出の部				
総会開催費	5,600,000	2,154,445	-3,445,555	総会/理事会:会場費、設備費等
月次セミナー費	1,000,000	498,372	-501,628	
成果発表会開催費	3,000,000	2,891,756	-108,244	
地方セミナー開催費	1,000,000	0	-1,000,000	
Web サービス関連セミナー費	1,000,000	0	-1,000,000	
ホームページデザイン更新費	1,000,000	763,350	-236,650	
ホームページ運用費	600,000	229,950	-370,050	
部会支援金	1,500,000	82,285	-1,417,715	各部会の活動支援金
広告宣伝費	2,700,000	811,650	-1,888,350	
業務委託費	15,750,000	12,600,000	-3,150,000	事務局業務委託費用
通信費・車両運送費	750,000	320,459	-429,541	TEL/FAX 料金、郵便、宅急便等の費用
旅費交通費	300,000	104,860	-195,140	
事務消耗品費	1,200,000	1,152,745	-47,255	コピー機保守(カウンタ)費用、事務用品費用等
雑費	750,000	523,448	-226,552	コピー機リース費用、振込手数料、書籍/ソフトウェア購入費用
予備費	280,278	0	-280,278	
年会費未回収	0	300,000	300,000	3 社年会費未払いにつき除名
当期末繰越資金	0	12,097,400	12,097,400	
支出の部合計	36,430,278	34,530,720	-1,899,558	

貸借対照表

平成 15 年 3 月 31 日現在

科 目	金 額
・ 資産の部	
現金・預金	11,819,161 (現金 0 円、預金 11,819,161 円)
未収入金	0
前払金	278,239
流動資産合計	12,097,400
資産合計	12,097,400
・ 負債の部	
未払金	0
前受金	0
流動負債合計	0
負債合計	0
・ 正味財産の部	
正味財産合計	12,097,400
負債及び正味財産合計	12,097,400

財産目録

科 目	細 目	金 額
・ 資 産		
普通預金	UFJ銀行錦糸町支店	11,819,161
前払金	第 3 回総会会場費(東京コンファレンスセンター)	278,239
・ 負 債		0

監査報告書

第 3 号 議 案

2003 年 度 活 動 / 予 算 計 画 承 認 の 件

XMLコンソーシアム

1. 2003 年度 基本方針

1) 活動目的:

「日本における XML ならびに Web サービスを利用したシステムやサービスの普及を促進し、標準化に関する活動を支援し業種別標準ポキャブラリの策定に寄与する。」

2) 重点課題:

- ・ユーザー企業を対象とする活動の展開
- ・地方に対する支援活動
- ・標準化活動支援を目的とする他業界団体との協業
- ・ビジネスの場・機会の提供
- ・XMLコンソーシアム認知度向上

3) 全体活動目標

(1) セミナー開催 : 10 回以上

月例 XML セミナー、関西セミナー、特別セミナー、ビジネス支援セミナー等

(2) 活動成果の発表 : 成果発表会として 4 回

(3) 啓蒙・広報・宣伝活動 :

プレスリリース 5 回以上

英語版プレスリリースの発信

メディアパートナー 3 社以上

(4) 業界標準ポキャブラリの策定支援:

3 業界団体以上に対する支援活動

(5) Web サービス実証実験 & デモ・システム構築:

2 件以上

(6) 地方に対する支援活動

3 地域以上

2. 2003 年度 年間主要活動計画

(年次)

2003 年 5 月 7 日 第 3 回総会・理事会・記念セミナー・懇親会

2004 年 5 月 第 4 回総会・理事会・記念セミナー・懇親会

(月次)

運営委員会

部会リーダー・ミーティング

月例セミナー

部会別月例ミーティング

(随時)

特別セミナー

取材協力

記事原稿執筆活動

他団体との交流会、情報交換会等

HomePage 更新作業 (=日次)

(計画中)

ユーザー企業向け活動: ユーザー・シンポジウム、XML/Web サービス情報ポータル等 (注 1)

会員向けビジネス支援活動: 主にベンチャー企業のためのビジネス支援セミナー (注 2)

ホームページでの製品紹介の強化

各種イベント、展示会への出展支援

東京以外での地域的活動: 地域主導セミナーに対する講師派遣、ビデオの提供 (注 3)

XML コンソーシアム主導による定例セミナー開催

月次セミナー・コンテンツ ストリーミング配信等

注 1: ユーザー・シンポジウム

ユーザーが語るユーザーのための XML/Web サービスセミナーを開催する。

- ・XML/Webサービス情報ポータル
 - ネット上に散在するXML/Webサービスの情報のポータル
 - 各社のXML/Webサービス/標準化などの情報ページにリンクをする
 - ユーザー事例にリンクをする
- ・セミナーのユーザー告知強化
 - 月例セミナー、XMLコンソーシアムDAY、XMLコンソーシアム WEEKなどを、メールマガジン(有償広告含)などを使い告知し、会員外のユーザー企業の参加を推進する。

注2: ・XMLコンソーシアムビジネス支援セミナー

XML製品や関連するビジネスのアピールの場として、製品説明やビジネス展開、導入企業へのメリットなど、主にベンチャー企業を対象としたビジネス支援のセミナーを開催する。

<形態>

- ・3ヶ月に1~2回程度の開催(応募数により決定)
- ・1回のセミナーで3~5社発表
- ・1社45分、アピール30分、質疑応答15分程度
- ・1回の集客は100名以下を想定
- ・XMLコンソーシアムより日時、場所を設定して発表企業を募集

・XMLコンソーシアムホームページでの製品紹介の強化

現在の「会員製品一覧」のページを改良し、もしくは新しいページを作成しWhat's New的な要素を組み入れて自社製品アピールが行えるようにする

<形態>

掲載を希望する企業は申込Formに記入し、掲載希望日時の3日前までに事務局宛申込みを行う。
事務局側で定形HTMLを用意し、下記1~6までのテキストデータを流し込み、極力掲載希望日に公開できるようにする。
画像等には対応しない(自社のリンク先に用意してもらう)。

<掲載内容>

- ・ニュースリリース
- ・製品紹介
- (・自社主催のセミナー、イベントなども可能)

・各種イベント、展示会の出展サポート

XMLコンソーシアムが協賛、共催、協力するイベント会社や他業界団体の展示会やセミナーに会員会社が出展した場合、ホームページなどを利用して案内をおこなう。会員企業に対する出展割引などの要請も行っていく。

注3: ・地方セミナー開催

目的:地方セミナーを定期的に開催し、地方会員に対する情報提供を充実させる。

開催頻度:年間3回(7月、10月、1月)

開催地:関西(基本的には、大阪)

開催会場:幹事会社さんの支社・支店のセミナー施設

実行体制:事務局+運営委員会+運営委員会参加企業の地元支援メンバー

講師:東京より派遣もしくは地元

・セミナー情報の配信

目的:開催されたセミナーの講演を録画(もしくは録音)し、プレゼン資料と同期させてストリーミング配信し、セミナー講演をより多くの人が視聴できるようにする。

配信対象:月例セミナー講演、総会基調講演、XMLデー講演

配信方法:オンデマンド(講演実施日より1週間以内にアクセス可能)

設備および関連作業:外注

(特別行事 - コンソーシアム主催)

2003年5月7日	2003年度部会活動に関するご紹介
5月26日-	第2回部会成果発表会(XMLコンソーシアムWeek)
9月	ユーザー・シンポジウム
10月	第5回部会中間成果発表会(XMLコンソーシアムDay)
2004年2月	第6回部会中間成果発表会(XMLコンソーシアムDay)
2004年5月	第3回部会成果発表会(XMLコンソーシアムWeek)

(特別行事-外部主催)

理事会承認にて適宜企画・実施

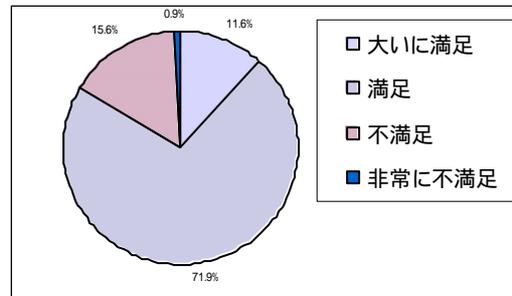
参考資料:

2003 年度 基本方針の策定にあたって

1) 会員調査に基づく現状把握

- 「XML・Web サービス普及度及び会期延長に対する意向調査」(2003 年 1 月実施)
- ・XMLコンソーシアムの活動に対する評価と理由
- ・XMLコンソーシアムに対するご意見、ご要望

会員調査のデータから、XMLコンソーシアムの現状を見直し、会員の要望を吸収し、新年度の基本方針を策定する。



(出典:XML コンソーシアム 2002 年度 XML & Web サービス普及アンケート)

大いに満足+満足(83.5%)の理由コメント(総数136) トップ5

- ・セミナー等の普及活動が充実
- ・最新情報(技術情報・動向把握・事例・製品情報等)をいち早く収集できる場所
- ・企業同士の交流、企業を越えた人的交流、情報交換・共有の場
- ・部会活動の成果
- ・日本国内のXML活用をリード

不満足(16.5%)の理由コメント(総数34) トップ5

- ・一般企業にとり専門的に過ぎる内容
- ・地理的障害
- ・アピール不足
- ・標準化推進活動が不十分
- ・ISV / SI支援活動の不足

総括:

- ・XMLは確実に普及してきており、IT 業界においてはXMLはすでに常識となった。一方、ユーザー企業においては、XMLは今まさに普及が始まった。
- ・Webサービスの普及は端緒についたところであり、これから「普及したとは言い難い」から「普及しつつある」に移行していくと予想される。
- ・XMLおよびWebサービスの普及啓蒙活動に関するXMLコンソーシアムの活動は「日本国内のXML普及を牽引している」と会員から高く評価されている。同時に、ユーザー企業を活動に巻き込みながら、普及に一層のはずみをつけ、ビジネスの活性化を図りたいところである。
- ・技術・情報の共有の場として評価を得ている部会活動ではあるが、地方の会員にとっては地理的障害がたちはだかっており、地方での活動掘り起こし、活動支援が強く要望されている。
- ・XMLコンソーシアムの普及活動の充実と認知度に対し高い評価を得ている一方、更に知名度を高める活動も要望されている。
- ・ポキャブラリの策定などの標準化活動に関する取り組み・支援はまだ開始されたばかりで体制的にも不十分であり、推進のための一層の強化が要望されている。
- ・コンソーシアムをビジネスの場として活用したいという要望が寄せられている。

2) 強化項目

上記の総括に基いた施策に加え、XMLコンソーシアムをビジネスのための場所としても活用できるよう強化を図っていく。

- ・ユーザー企業を巻き込んだ活動

- ・地方に対する支援活動
- ・PR 活動の充実
- ・標準化支援活動の充実
- ・ビジネス支援・ベンチャー支援

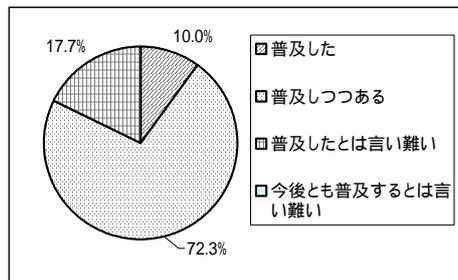
3) XML コンソーシアムが目指す普及度目標指数

これまでも増してXMLならびにWebサービスの普及啓蒙に貢献できる活動の充実を図っていくために、普及度目標指数を指標として設定したい。しかしながら、この指数をXMLコンソーシアム活動継続有無の判断基準と考えている訳ではないことをご了解いただきたい。

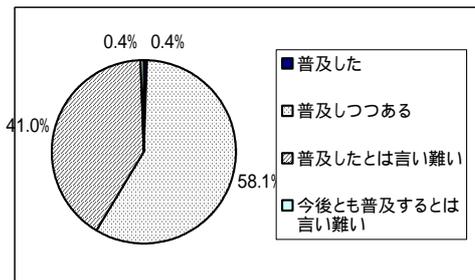
注：普及度目標指数は、普及度に対する会員アンケートから抽出する。
「普及した」+「普及しつつある」の合計%

2003 年年初の普及度指数

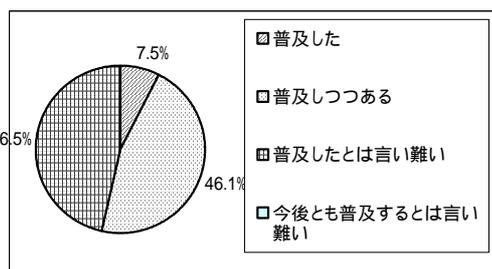
IT業界におけるXML技術の普及度合い



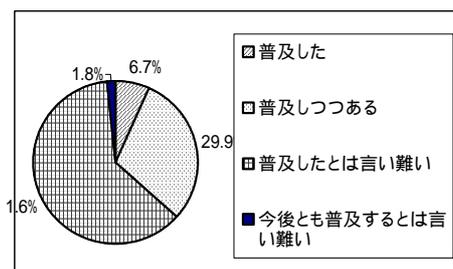
ユーザー企業におけるXML技術の普及度合い



IT業界におけるWebサービス技術の普及度合い



ユーザー企業におけるWebサービス技術の普及度



(出典:XML コンソーシアム 2002 年度 XML & Web サービス普及アンケート)

2004 年年初の普及度指数目標

・ XML の普及度目標指数

IT 業界: 82.3% -> 90% 以上
ユーザー企業: 58.5% -> 65% 以上

・ Web サービス普及度目標指数

IT 業界: 53.6% -> 70% 以上
ユーザー企業: 36.6% -> 45% 以上

4) 会期後の姿

常に世の中の最先端をいくのもコンソーシアムのあり方の一つであり、その普及や標準化のために競合他社が協業しあっていくのは意義深いことである。XMLコンソーシアムがXMLの普及に貢献でき、かつ、標準化の進め方を提案できた状態で、次の活動に向け新しい目的と枠組みで飛躍することが重要である。

その観点から、XMLコンソーシアムの発展形にふさわしい活動形態や活動内容を、今後、検討し、提案していきたい。また、これに併せ、XMLコンソーシアムの活動成果物の適切な継承方法なども検討していきたい。

3. 2003 年度 予算計画

	予 算	備 考
収入の部		
前年度繰越金	¥12,097,400	
年会費	¥25,000,000	10 万円 × 250 社
収入の部合計	¥37,097,400	

支出の部		
総会開催費	¥5,600,000	総会/理事会: 会場費、設備費、特別セミナー関連費、配布資料印刷費用、 臨時スタッフ費用等 280 万円 × 2 回(2003 年 5 月 7 日、2004 年 5 月)
月次セミナー開催費	¥1,000,000	配布資料印刷費用等: 10 万円 × 10 回(5 月、6 月を除く毎月)
成果発表会開催費	¥4,000,000	会場費、設備費、配布資料印刷費用、臨時スタッフ費用等: XML コンソーシアム Week: 150 万円 × 2 回(2003 年 5-6 月、2004 年 5 月開催) XML コンソーシアム Day: 50 万円 × 2 回(2003 年 10 月、2004 年 2 月開催)
地方セミナー開催費	¥2,000,000	会場費、設備費、配布資料印刷費用、スタッフ交通費等: 50 万円 × 2 回(2003 年 10 月、2004 年 2 月)
ホームページデザイン更新費	¥3,000,000	外注予定
ホームページ運用費	¥1,500,000	サーバーホスティング費(ML 含む): 10 万円 × 15 ヶ月(2003 年 4 月 ~ 2004 年 6 月)
部会・推進委員会支援金	¥700,000	
広告宣伝費	¥1,000,000	雑誌広告: 版下作成・掲載
業務委託費	¥15,750,000	事務局業務委託費用: 105 万円 × 15 ヶ月
通信費・車両運搬費	¥750,000	TEL/FAX 料金、郵便、宅急便等の費用: 5 万円 × 15 ヶ月
旅費交通費	¥300,000	2 万円 × 15 ヶ月
事務消耗品費	¥1,200,000	コピー機保守(カウンタ)費用、事務用品費用等: 8 万円 × 15 ヶ月
雑費	¥750,000	コピー機リース費用、振込手数料、書籍/ソフトウェア購入: 5 万円 × 15 ヶ月
予備費	¥47,400	
支出の部合計	¥37,097,400	

注) 総会開催費は、2004 年 5 月分も計上
部会支援金は、2004 年 5 月まで計上
XML コンソーシアム Week 2004 年 5 月まで計上

第 4 号 議 案

2003 年 度 理 事 / 監 事 選 任 の 件

XMLコンソーシアム

XMLコンソーシアム役員構成

【理事候補】

上野 守生 (ウエノ モリオ)

会 社 名: 亜細亜証券印刷株式会社
役 職: 代表取締役社長

下川 和男 (シモカワ カズオ)

会 社 名: イースト株式会社
役 職: 常務取締役

平野 洋一郎 (ヒラノ ヨウイチロウ)

会 社 名: インフォテリア株式会社
役 職: 代表取締役社長

Mark Batt (マーク バット)

会 社 名: 株式会社エーエスピー
役 職: 副社長 国際営業開発部担当

長野 宏宣 (ナガノ ヒロノブ)

会 社 名: NTTコムウェア株式会社
役 職: 取締役 BI 本部ビジネス企画部長

鶴保 征城 (ツルホ セイシロ)

会 社 名: NTTソフトウェア株式会社
役 職: 代表取締役社長

山本 修一郎 (ヤマモト シュウイチロウ)

会 社 名: 株式会社NTTデータ
役 職: 技術開発本部 副本部長

塩川 公男 (シオカワ キミオ)

会 社 名: 株式会社大塚商会
役 職: 取締役 Web 事業推進部

植松 裕次 (ウエマツ ユウジ)

会 社 名: サン・マイクロシステムズ株式会社
役 職: 取締役 システム技術担当

浮川 初子 (ウキガワ ハツコ)

会 社 名: 株式会社ジャストシステム
役 職: 代表取締役専務

石田 史行 (イシダ フミユキ)

会 社 名: 東芝 ITソリューション株式会社
役 職: cソリューション事業部 副事業部長

田原 春美 (タハラ ハルミ)

会 社 名: 日本アイ・ピー・エム株式会社
役 職: ソフトウェア事業部 エマージング・テクノロジープログラム担当 部長

鈴木 俊宏 (スズキ トシヒロ)

会 社 名: 日本オラクル株式会社
役 職: コアテクノロジー本部 COE 担当ディレクター

笠原 裕 (カサハラ ヒロシ)

会 社 名: 日本電気株式会社
役 職: ソリューション開発研究本部 インターネット基盤開発本部 開発本部長

大津山 隆 (オオツセマ、タカシ)

会 社 名: 日本ビューレット・パッカード株式会社
役 職: ビジネスクリティカルシステム統括本部 インフラストラチャソリューション本部

丸山 修 (マルヤマ オサム)

会 社 名: 日本ユニシス株式会社
役 職: 執行役員 Eテクノロジー & サービス部長

小塚 潔 (コヅカ キヨシ)

会 社 名: 株式会社日立製作所
役 職: ソフトウェア事業部 事業部長

山本 章治 (ヤマモト ショウジ)

会 社 名: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
役 職: 常務取締役 開発事業部 事業部長

浜 文男 (ハマ フミオ)

会 社 名: 富士ソフト ABC 株式会社
役 職: 専務取締役

弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)

会 社 名: 富士通株式会社
役 職: プロジェクト A-XML プロジェクト長

三ヶ野原 敏郎 (ミカノハラ トシロウ)

会 社 名: マイクロソフト株式会社
役 職: 執行役員 社長室長

【監事候補】

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)

会 社 名: 株式会社ジャストシステム
役 職: 社長室 部長

水谷 学 (ミスタニ マナブ)

会 社 名: ビーシーエー株式会社
役 職: 開発技術担当 CTO

第 3 回総会議案書 添付資料

1 . 2002 年度セミナー開催一覧.....	1
2 . 2002 年度部会成果発表会開催一覧.....	4
3 . 2002 年度部会開催一覧.....	7
4 . 2002 年度 XML 普及度調査アンケート集計結果.....	9
5 . 2003 年度 XML コンソーシアム組織.....	13
6 . 2003 年度部会活動計画.....	14
(1)XML テクノロジー部会活動要綱.....	14
(2)応用技術部会活動要綱.....	19
(3)VoiceXML 部会活動要綱.....	22
(4)ドキュメント部会活動要綱.....	23
(5)ContactXML 部会活動要綱.....	26
(6)TravelXML 標準化部会活動要綱.....	28
(7)Contents 利用情報標準化部会活動要綱.....	29
7 . Web サービス推進委員会活動計画.....	30
8 . 標準化推進委員会活動計画.....	38
9 . 会員会社一覧.....	40

1. 2002年度セミナー開催一覧

月例セミナー

開催回数	プログラム	場所・参加人数
第9回 月例セミナー 2002年 4月17日	1) 「WSDL 相互運用性テスト報告～Web Services Interoperability Forum における実証実験～」 日本アイオナテクノロジー株式会社 小野沢 博文 様 2) 「バイオ分野におけるXMLの応用例～BSMLとXML Genomic Suite DB のご紹介～」 株式会社 CRC ソリューションズ 安中 敏男 様 3) 「ネイティブXMLサーバー Tamino 3.1」 株式会社ビーコンIT 田中 聡 様 4) 「XML ネイティブデータベースエンジン「Yggdrasil(イグドラシル)」～大容量、高速検索、2バイト文字対応など高機能でコストパフォーマンスに優れたデータベースエンジン～」 株式会社メディアフュージョン 前場 大輔 様 5) 「XMLの可能性を最大限に引き出すXMLデータサーバ「eXcelon XIS」～最高データベース賞に輝く、XISによるXMLアプリケーション構築のキー・ポイント～」 日本エクセロン株式会社 武末 徹也 様 6) 「XML データベース連携関連ツール iConnector, iMaker, Zerkova」 インフォテリア株式会社 井下田 久幸 様 7) 「XML全文検索エンジン BTONIC」 イースト株式会社 下川 和男 様 8) 「XML電子カタログを活用した次世代型コンフィグレーションエンジンコンフィグPro」 PFU アクティブラボ株式会社 槇本 力也 様 9) 「サービスベースアプリケーションプラットフォーム SonicXQ」 株式会社オーヂス総研 正田 壘 様 10) 「XMLアプリケーション構築プラットフォーム「DataSpider(R)」シリーズ」 株式会社アプレッソ 大島 幸男 様	豊洲：日本ユニシス(株)本社 会 員：82社 140名 非会員：26社 27名 合 計：108社 167名
第10回 月例セミナー 2002年 7月17日	1) 「XML及びWebサービスの利用及び注目の動向」 株式会社アットマーク・アイティ 小柴 豊 様 2) 「ここまで来た欧米企業のWebサービス活用 - 議論を終わり、実用のフェーズに入ったWebサービス -」 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様 (XMLコンソーシアム エバンジェリスト) 3) コミュニケーション・タイム 「普及が始まったXMLそしてWebサービス、その現実に迫る」 株式会社コンピュータ・ニュース社 吉若 徹 様、金井 孝平 様 4) パネルディスカッション～「会場からの質問も大歓迎。日本におけるWebサービスの劇的なブレイクをこのパネルから！」 パネラー： 株式会社IDGジャパン 福田 悦朋 様 株式会社アットマーク・アイティ 新野 淳一 様 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様 日本アイ・ビー・エム株式会社 米持 幸寿 様	多摩大学ルネッサンスセンター (渋谷マークシティ) 会 員：67社 114名 非会員：17社 21名 プレス：2社 3名 合 計：86社 138名
第11回 月例セミナー 2002年 8月23日	1)-1 「情報セキュリティの傾向とその対策の考え方」 富士通(株) 塩崎 哲夫 様 1)-2 「PKIの動向」 (株)日立製作所 洲崎 誠一 様 2)-1 「セキュリティ関連XMLの動向とSignature、Encryption、XKMS解説」 沖電気工業(株) 池上 勝美 様 (XMLコンソーシアム 基盤技術部会) 2)-2 「SAML、XACML解説」 富士ゼロックス(株) 道村 唯夫 様 3)-1 「WS-Security 解説」(前半) 日本アイ・ビー・エム株式会社 小坂 一也 様 3)-2 「WS-Security 解説」(後半) マイクロソフト(株) 加藤 健二 様 3)-3 「Liberty Alliance 1.0 解説」 サン・マイクロシステムズ(株) 下道 高志 様 4) 「Webサービスセキュリティの互換性評価」 日本電気(株) NECソリューションズ 杉山 高弘 様	御茶ノ水：(株)日立製作所 東御茶の水ビル 会 員：97社 261名 非会員：28社 30名 合 計：125社 291名
第12回 月例セミナー 2002年 9月17日	1) 「業務におけるWebサービス連携を実現する最新テクノロジー」 日本BEAシステムズ株式会社 伊藤 敬 様 2) 「BPEL4WS 概説」 日本アイ・ビー・エム株式会社 米持 幸寿 様 3) 「WS-Coordination / WS-Transaction 概要」 マイクロソフト株式会社 野村 一行 様 4) 「UDDIの意義と役割」 富士通株式会社 木庭袋 圭祐 様 5) 「UDDIにおける国際化・セキュリティ」 日本アイ・ビー・エム株式会社 吉田 忠行 様	豊洲：(株)NTT データ 豊洲センタービル 会 員：67社 157名 非会員：11社 12名 合 計：78社 169名

第13回 月例セミナー 2002年 10月18日	1) 「文書管理基盤 DocumentBroker を利用した XML コンテンツ管理」 株式会社日立製作所 島田 敦史 様	大井町: インフォテリア株式会社 会 員: 54社 73名 非会 員: 7社 8名 合 計: 61社 81名
	2) 「電子帳票フレームワークとXMLを活用した効率的なシステム構築」 株式会社富士通インフォソフトテクノロジ 山本 昭之 様	
	3) 「XMLドキュメントソリューションのご紹介」 東芝ITソリューション株式会社 石崎 豊 様	
	4) 「Oracle9i ネイティブXML データベース」 日本オラクル株式会社 和田 凡央 様	
第14回 月例セミナー 2002年 11月19日	1) 「電子カルテの新標準 MML(Medical Markup Language)の概要と動向」 特定非営利活動法人 MedXML コンソーシアム 中島 裕生 様 (テクマトリクス株式会社 取締役技術本部長)	大井町: インフォテリア株式会社 会 員: 47社 71名 非会 員: 9社 9名 合 計: 56社 80名
	2) 「XMLコンソーシアム勧告: ContactXML の概要と実装」 株式会社クレオ 小笠原徳夫 様 (XMLコンソーシアム ContactXML 部会サブリーダー)	
	3) 「次世代GISを担うG-XMLの概要と動向」 株式会社NTTデータ 中井 章文 氏 (G-XML 検討委員会委員)	
第15回 月例セミナー 2002年 12月19日	1) 「パブリック UDDI の取り組み状況と調達システムにおける Web サービス適応事例の紹介」 NTTコミュニケーションズ株式会社 町原 宏毅 様	東品川: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 本 社 会 員: 56社 108名 非会 員: 10社 11名 プレ ス: 1社 1名 合 計: 67社 120名
	2) 「Web サービスを利用した法人向け信用格付・与信管理システム」 テクマトリクス株式会社 杉崎 啓史 様	
	3) 「XMLドキュメント制作ソフトウェアニューラル制作」 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 金谷 恵子 様	
	4) 「携帯端末向け XML Web サービス ゲートウェイ」 日本ユニシス株式会社 鈴木武 様	
第16回 月例セミナー 2003年 1月17日	1) 「Web サービスは単なる要素技術? ~ Web サービス隆盛の背後にあるもの ~」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様	田町: 日本電気(株)本社ビル 会 員: 63社 124名 非会 員: 22社 24名 プレ ス: 1社 1名 合 計: 86社 149名
	2) 「組み込み機器への Web サービス応用」 株式会社 日立製作所 関口 知紀 様	
	3) 「携帯電話機を業務端末として活用するための XML/Web サービス適用について」 日本電気株式会社 岸上 信彦 様	
	4) 「データ、XML および Web サービスについて本当に知るべきこと - 期待と現実 -」 米国データディレクトテクノロジーズ社 プライアン・リード 様	
第17回 月例セミナー 2003年 2月18日	1) 「XMLコンソーシアムの標準化への取り組みについて」 XMLコンソーシアム運営委員会	多摩大学ルネッサンスセンター (渋谷マークシティ) 会 員: 65社 115名 非会 員: 13社 15名 プレ ス: 2社 2名 合 計: 80社 132名
	2) 「近未来のオンデマンド・サービスをささえる Grid 技術における Web サービスの役割」 日本アイ・ピー・エム株式会社 長島 哲也 様	
	3) 「Web サービスを利用した輸出信用状明細案内サービス」 株式会社 東京三菱銀行 別筒 正 様	
	4) 「市民と自治体: XML の役割」 株式会社シナジー・インキュベート 菊田 昌弘 様 (XMLコンソーシアム エバンジェリスト)	

ビデオセミナー(広島)

開催回数	プログラム	場所・参加人数
第1回 2002年 12月11日	1) 「XML 及び Web サービスの利用及び注目の動向」 株式会社アットマーク・アイティ 小柴 豊 様	広島県情報プラザ 視聴覚教室(2階) 内容: 「Web サービスを知ろう」
	2) 「ここまで来た欧米企業の Web サービス活用 - 議論を終わり、実用のフェーズに入った Web サービス -」 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様 (XMLコンソーシアム エバンジェリスト)	
	3) 「事例から探る Web サービスのビジネスモデル」 日本アイ・ピー・エム(株) 天野 富夫 様	
	4) 「Web サービス技術動向とシステム構築における考察」 (株)ジャステック 中村 知義 様 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様	
	5) フリーディスカッション	
第2回 2002年 12月17日	1) 「電子カルテの新標準 MML(Medical Markup Language)の概要と動向」 特定非営利活動法人 MedXML コンソーシアム 中島 裕生 様 (テクマトリクス株式会社 取締役技術本部長)	広島県情報プラザ 視聴覚教室(2階) 内容: 「日本で策定された XML ポ キャブラリ」
	2) 「XMLコンソーシアム勧告: ContactXML の概要と実装」 株式会社クレオ 小笠原徳夫 様 (XMLコンソーシアム ContactXML 部会サブリーダー)	
	3) 「次世代GISを担うG-XMLの概要と動向」 株式会社NTTデータ 中井 章文 氏 (G-XML 検討委員会委員)	
第3回 (第15回 月例セミナー)	1) 「パブリック UDDI の取り組み状況と調達システムにおける Web サービス適応事例の紹介」 NTTコミュニケーションズ株式会社 町原 宏毅 様	広島県情報プラザ 視聴覚教室(2階)

分)	2) 「Web サービスを利用した法人向け信用格付・与信管理システム」 テクマトリックス株式会社 杉崎 啓史 様	内容: 「XML/Web サービス活用事例特集」
2003年 1月16日	3) ソフトウェアエディタ制作ソフトウェアによるマニュアル制作」 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 金谷憲子 様	
	4) 「携帯端末向け XML Web サービス ゲートウェイ」 日本ユニシス株式会社 鈴木武 様	
	5) フリーディスカッション	
第4回 (第11回 月例セミナー 分)	1)-1 「情報セキュリティの傾向とその対策の考え方」 富士通(株) 塩崎 哲夫 様	広島県情報プラザ 視聴覚教室(2階) 内容: 「XML/Webサービスに関するセキュリティ」
2003年 1月30日	1)-2 「PKIの動向」 (株)日立製作所 洲崎 誠一 様	
	2)-1 「セキュリティ関連 XML の動向と Signature、Encryption、XKMS 解説」 沖電気工業(株) 池上 勝美 様(XML コンソーシアム 基盤技術部会)	
	2)-2 「SAML、XACML 解説」 富士ゼロックス(株)道村 唯夫 様	
	3)-1 「WS-Security 解説」(前半) 日本アイ・ピー・エム株式会社 小坂 一也 様	
	3)-3 「Liberty Alliance 1.0 解説」 サン・マイクロシステムズ(株) 下道 高志 様	
	4)-1 「Web サービスセキュリティの互換性評価」 日本電気(株)NECソリューションズ 杉山 高弘 様	
	4)-2 フリーディスカッション	
第5回 (第13回 月例セミナー 分)	1) 「文書管理基盤 DocumentBroker を利用した XML コンテンツ管理」 株式会社日立製作所 島田 敦史 様	広島県情報プラザ 第2研修室(2階) 内容: 「XMLコンテンツ対応製品特集」
2003年 2月13日	2) 「電子帳票フレームワークとXMLを活用した効率的なシステム構築」 株式会社富士通インフォソフトテクノロジー 山本 昭之 様	
	3) 「XMLドキュメントソリューションのご紹介」 東芝ITソリューション株式会社 石崎 豊 様	
	4) フリーディスカッション	
第6回 (第16回 月例セミナー 分)	1) 「Web サービスは単なる要素技術? ~ Web サービス隆盛の背後にあるもの ~」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様	広島県情報プラザ 第3研修室(2階) 内容: 「Webサービス応用の新潮流 とXML応用事例」
2003年 2月26日	2) 「組み込み機器への Web サービス応用」 株式会社 日立製作所 関口 知紀 様	
	3) 「携帯電話機を業務端末として活用するための XML/Web サービス適用について」 日本電気株式会社 岸上 信彦 様	
	4) 「データ、XML および Web サービスについて本当に知るべきこと - 期待と現実 -」 米国データディレクトテクノロジーズ社 ブライアン・リード 様	
	5) フリーディスカッション	
第7回 (第17回 月例セミナー 分)	1) 「XMLコンソーシアムの標準化への取り組みについて」 XMLコンソーシアム運営委員会	広島県情報プラザ 第3研修室(2階) 内容: 「XMLおよびWebサービスの現状から将来までを見据えて、XMLやWebサービス技術の持つ意味や価値を見直す」
2003年 3月25日	2) 「近未来のオンデマンド・サービスをささえるGrid技術におけるWebサービスの役割」 日本アイ・ピー・エム株式会社 長島 哲也 様	
	3) 「市民と自治体:XMLの役割」 株式会社シナジー・インキュベート 菊田 昌弘 様 (XMLコンソーシアム エバンジェリスト)	
	4) フリーディスカッション	

3. 2002年度部会成果発表会開催一覧

XML コンソーシアム Week(第1回)

開催回数	プログラム	場所・参加人数
第1日 2002年 5月27日	1) 「XML コンソーシアム会長挨拶」 XML コンソーシアム会長 鶴保 征城 様 (NTTソフトウェア(株) 代表取締役社長) 2) 「XML Schema の主な機能と動向」 情報技術開発(株) 高橋 洋 様 ジャストシステム(株) 赤井 靖雄 様 3) 「RDB を用いた XML 差分管理と部分木取得」 NTTソフトウェア(株) 山本 浩一 様 4) 「XML データベースの機能比較調査」 日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング(株) 大庭 幹生 様 5) 「DB から XML スキーマによって部分 XML を取得する」 エヌピーシーシステムドットコム 赤井 寧子 様 6) 「組込みシステムとXML」 富士電機(株) 梅崎 一也 様 7) 「組込み分野におけるシステムモデルの一例」 ミノルタ(株) 白澤 俊哉 様	田町:日本電気(株)本社ビル 会員:105社 155名 非会員:64社 70名 合計:169社 225名
第2日 2002年 5月30日	1) 「VoiceXML 部会活動の紹介」 日本アイ・ピー・エム(株) 村上 光 様 2) 「VoiceXML 和訳グループの活動」 ドコモ・システムズ(株) 大野 邦夫 様 3) 「組込み系音声システムの現状および今後の展開について」 (株)コムスクエア 井上 直矢 様 4) 「VoiceXML 部会アプリケーション WG よりの報告」 (株)富士通研究所 伊藤 映 様 5) 「ContactXML のコンセプトと ContactXML 次期バージョンのご紹介」 インフォテリア(株) 吉政 忠志 様 インフォテリア(株) 江島 健太郎 様 (株)クレオ 押尾 孝浩 様 6) 「筆まめの ContactXML 対応で何が変わるか？」 (株)クレオ 小笠原 徳夫 様 (株)クレオ 押尾 孝浩 様 7) 「ContactXML と Notes/Domino による多言語(日中英)コンタクト情報の連携」 (株)PFU 糸山 英二 様 (株)PFU 岩松 哲男 様 8) 「コンタクト情報の「標準化」による顧客データベース運用の課題と可能性」 (株)エニイ 竹村 直浩 様 (株)エニイ 河又 芳雄 様	豊洲:(株)NTT データ 豊洲センタービル 会員:60社 79名 非会員:45社 49名 合計:105社 128名
第3日 2002年 6月10日	1) 「XSL の活用と技術内容の紹介」 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様 XML コンソーシアム エバンジェリスト 小林 茂 様 (日本ユニシス(株)) 2) 「SVG、XHTML 中心の複合文書で、異メディア間で文字列を使い回す」 (株)フジミック 大坂 哲司 様 3) 「XML を用いたマルチメディアコンテンツシステム」 NTTソフトウェア(株) 奥山 信輔 様 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様 4) 「セキュリティ関連 XML 規格の紹介」 ミノルタ(株) 上田 隆司 様 富士ゼロックス(株) 道村 唯夫 様 沖電気工業(株) 池上 勝美 様 5) 「XKMS システムの開発」 沖電気工業(株) 池上 勝美 様 富士ゼロックス(株) 道村 唯夫 様 リコーシステム開発(株) 小堀 真義 様	大井町:インフォテリア(株) 会員:68社 107名 非会員:44社 51名 合計:112社 158名
第4日 2002年 6月12日	1)-1 「常識を備えた SemanticWeb のエージェントに検索させてみる」 (株)ジェー・アイ・イー・シー 大泉 英之 様 1)-2 「『若い奴は演歌は聴かない』って知ってる検索エンジンの試作イメージ」 ジャストシステム(株) 野村 直之 様 2) 「付箋紙を XLink で動かしてみる ~こんなビジュアル効果はどう?」 (株)フジミック 大坂 哲司 様 3) 「Web サービス技術動向とシステム構築における考察」 (株)ジャステック 中村 知義 様 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様 4) 「事例から探る Web サービスのビジネスモデル」 日本アイ・ピー・エム(株) 天野 富夫 様	東品川:松下電器産業(株) 会員:80社 132名 非会員:55社 61名 合計:135社 193名

	5) 「レガシーAPをどのように Web サービス化するか」 NTTソフトウェア(株) 妹尾 正身 様 富士通(株) 前田 隆之 様	
第5日 2002年 6月13日	1) 「NewsML-DB 連携アプリケーション例と NewsML をめぐる動向」 (株)読売新聞社 三宅 学 様 2) 「NewsML 解説と NewsML-Toolkit 紹介」 日本電気(株) 新田 一樹 様 3) 「NewsML を活用したニュース検索 Web サービスの構築」 PFUアクティブラボ(株) 松山 憲和 様 4) 「Web サービスセキュリティの評価、実運用時の問題点」 日本電気(株) 杉山 高弘 様 5) 「Web サービス適用事例募集！」 日本アイ・ピー・エム(株) 武用 佳哲 様 6) 「Web サービス推進委員会 技術小委員会報告」 日本オラクル(株) 鈴木 俊宏 様 7) 「Web サービス推進委員会 技術小委員会報告」 富士通(株) 松下 嘉哉 様 8) 「Web サービス開発ガイドのご紹介」 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) 高野 浩義 様 NTTソフトウェア(株) 立川 敬行 様 9) 「Web サービスでの分類・識別コードの利用について」 (株)NTTデータ 遠城 秀和 様 富士通(株) 木庭袋 圭祐 様 10) 「分散オブジェクト推進協議会(DOPG)による Web Services 相互運用検証報告」 分散オブジェクト推進協議会 システム インテグレーション分科会主査 原嶋 秀次 様(株)東芝 分散オブジェクト推進協議会 トランザクション/コンポーネント分科会主査 成田 雅彦 様(富士通(株)) 分散オブジェクト推進協議会 相互運用分科会主査 佐治 信之 様(日本電気(株)) 分散オブジェクト推進協議会 足立 勇 様((株)日立製作所) 分散オブジェクト推進協議会 村川 純 様(サンマイクロシステムズ(株)) 分散オブジェクト推進協議会 鈴木 潤一 様(日本オラクル(株))	箱崎: 日本アイ・ピー・エム(株) 会 員: 70社 135名 非会 員: 38社 43名 合 計: 108社 178名
第6日 2002年 6月14日	1) 「MDA - OMG の提唱するアーキテクチャ参照モデルにおける UML と XML」 OMG ジャパン 伊藤 友里恵 様 2) 「電子コラボレーション新世紀 ~ ebXML で実現する電子コラボレーションビジネス ~」 電子商取引推進協議会 菅又 久直 様 3) 「RosettaNet の現状と日本における展開と Vision」 ロゼッタネットジャパン 元運営委員長 大内 博志 様 (NTT コミュニケーションズ(株)) 4) 「XBRL による財務情報処理・開示の実現」 XBRLJapan リエゾン委員 木村 章展 様(中央青山監査法人) デモ協力 (株)日立製作所 (株)日立システムアンドサービス 富士通(株) (株)富士通プライムソフトテクノロジー 5) 「XML 技術者認定制度「XML マスター」の紹介と合格の為の傾向と対策」 XML 技術者育成推進委員会 事務局 長 吉政 忠志 様(インフォテリア(株)) 6) 「ご挨拶: XML コンソーシアム平成 14 年度活動計画」 XML コンソーシアム副会長 田原 春美 様(日本アイ・ピー・エム(株))	丸の内:富士通(株)本社 会 員: 42社 54名 非会 員: 40社 41名 合 計: 82社 95名

XML コンソーシアム Day(第3回~第4回)

開催回数	プログラム	場所・参加人数
第3回 XML コンソーシアム Day 第1日 2002年 11月7日	1) 「音声ポータル試用調査報告」 沖電気(株) 渡辺 聡 様 2) 「なぜいまマルチモーダルか」 マイクロソフト(株) 金子 宏 様 「FOMAによるマルチモーダル・アプリケーションのデモ」 有限会社サイウイズ 杉江 健司 様 3) 「VoiceXML の日本語に関する問題点」 (株)日立製作所 鯨井 俊宏 様 4) 「SMIL が作るマルチメディア Web の世界(SMIL の概要)」 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様 「SMIL が作るマルチメディア Web の世界(SMIL2.0 と XHTML+SMIL)」 NTTソフトウェア(株) 奥山 信輔 様 5) 「XQuery ってどんなもの？」 NTTソフトウェア(株) 山本 浩一 氏	豊洲:日本ユニシス(株) 会 員: 56社 97名 非会 員: 22社 24名 合 計: 78社 121名

	<p>日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング(株) 大庭 幹生 様</p> <p>6) 「PDA WG 活動報告」 ミノルタ(株) 的場 和男 様</p> <p>7) 「部分XML抽出プロトタイピング」 (株)エスピーシーシステムドットコム 赤井 寧子 様</p>	
<p>第3回 XMLコンソーシアム Day 第2日</p> <p>2002年 11月8日</p>	<p>1) 「ContactXML 部会 現状の活動報告」 インフォテリア(株) 吉政 忠志 様 「ContactXML Version1.1 勧告解説」 インフォテリア(株) 江島 健太郎 様</p> <p>2) 「ContactXML 対応ソリューション互換性について」 株式会社アイフォー 高崎 研 様 株式会社クレオ(部会サブリーダー) 小笠原 徳夫 様 富士ソフトABC株式会社 藤原 章裕 様</p> <p>3) 「日本初。Web サービス対応名刺作成サービスの構築にむけて」 ブレインセラーズ・ドットコム(株) 柳下 剛利 様</p> <p>4) 「W3C SOAP1.2 Update Review」 マイクロソフト(株) 増田 吉宏 様</p> <p>5) 「インターネット公開 Web サービスの配置・展開の考察」 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様</p> <p>6) 「SemanticWeb が実現する次世代インターネットの世界 ～知識管理とビジネス高度化のために SemanticWeb は「使える」か?」 (株)ジャストシステム 野村 直之 様</p> <p>7) 「応用部会/Web サービス WG 活動状況報告」 PFUアクティブラボ(株) 松山 憲和 様</p>	<p>多摩大学ルネッサンスセンター (渋谷マークシティ) 会 員: 67社 100名 非会 員: 22社 25名 合 計: 89社 125名</p>
<p>第4回 XMLコンソーシアム Day 第1日</p> <p>2003年 3月4日</p>	<p>1) 「ContactXML 部会 現状の活動報告」 インフォテリア株式会社 吉政 忠志 様 (ContactXML部会リーダー) 「ContactXML 部会 IPACT_WG 活動報告」 郵政事業庁 中川 真孝 様 (ContactXML部会 IPACT_WG リーダー) 「ContactXML 部会 ContactXML ユーザー会」 株式会社クレオ 小笠原 徳夫 様 (ContactXML部会 サブリーダー)</p> <p>2) 「ContactXML 次期バージョンに向けて」 インフォテリア株式会社 江島 健太郎 様 (ContactXML部会/XMLコンソーシアム エバンジェリスト)</p> <p>3) 「海外のプロビジョニング企業の事例研究」 富士通株式会社 棚橋 一也 様 (XMLテクノロジー部会)</p> <p>4) 「セマンティック Web の動向とメタデータ (前半)」 株式会社ジャストシステム 野村 直之 様 (XMLテクノロジー部会 セマンティック Web WG / XMLコンソ - シアム エバンジェリスト) 「セマンティック Web の動向とメタデータ (後半)」 日本ユニシス株式会社 小林 茂 様 (XMLテクノロジー部会 セマンティック Web WG / XMLコンソ - シアム エバンジェリスト)</p> <p>5) 「MVCフレームワークにおける XMLコンテンツハンドリング」 情報技術開発株式会社 高橋 洋 様 (XMLテクノロジー部会 複合コンテンツ WG)</p> <p>6) 「SMILを用いたWebセミナーシステム」 ネクストソリューション株式会社 加藤 上直 様 (XMLテクノロジー部会 複合コンテンツ WG)</p> <p>7) 「マルチビュー・モニタリングシステム SKY MULTI EYEへの オープンソース・XMLデータベースの適用事例」 スカイ・シンク・システム株式会社 玉川 竜司 様</p>	<p>箱崎: 日本アイ・ピー・エム(株) 会 員: 48社 59名 非会 員: 23社 25名 合 計: 71社 84名</p>

4. 2002年度部会開催一覧

XML テクノロジー部会

・基盤技術部会

回数	開催日	開催場所	時間
第10回	2002年4月18日	日本ユニシス本社 ビル6階Aルーム会議室	13:30～17:00
第11回	2002年5月24日	株式会社ジェー・アイ・イー・シー本社ビル15階	13:30～17:00
第12回	2002年7月18日	日本ユニシス株式会社本社ビル6階Aルーム会議室	13:30～17:00
第13回	2002年8月30日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210・N211 会議室	13:30～17:00

・モデル研究部会

回数	開催日	開催場所	時間
第10回	2002年4月12日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210・N211 会議室	13:30～17:00
第11回	2002年5月17日	日本IBM 箱崎事業所 8階 819 会議室	13:30～17:00
第12回	2002年7月18日	日本ユニシス本社 6階ユニシスプラザセミナーAルーム	13:30～17:00
第13回	2002年8月30日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210・N211 会議室	13:30～17:00

・XML テクノロジー部会

回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2002年9月19日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210・N211 会議室	13:30～17:00
第2回	2002年10月17日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210・N211 会議室	13:30～17:00
第3回	2002年11月21日	日本ユニシス本社 6階セミナーA	13:30～17:00
第4回	2002年12月19日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210・N211 会議室	13:30～17:00
第5回	2003年1月23日	日本ユニシス本社 6階セミナーA	13:30～17:00
第6回	2003年2月20日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210・N211 会議室	13:30～17:00
第7回	2003年3月20日	NTTソフトウェア横浜本社新館 2階 N210・N211 会議室	13:30～17:00

応用技術部会

回数	開催日	開催場所	時間
第11回	2002年4月25日	日本ユニシス本社 ビル6階セミナーAルーム会議室	13:15～16:30
第12回	2002年5月23日	富士通恵比寿ビル 2F 第2セミナールーム	13:15～16:30
第1回	2002年7月4日	NTTコムウェア本社 品川 TWINS アネックス 17階 第2,3 会議室	13:30～16:30
第2回	2002年7月25日	日本IBM 本社 1F オーディトリウム	13:00～17:00
第3回	2002年8月22日	日立製作所本社 新丸ビル8階 8-132K	13:00～17:00
第4回	2002年9月26日	日本ユニシス本社 29階 中1 会議室	13:00～17:30
第5回	2002年10月24日	日本ユニシス本社 6階 P ルーム, セッション 2～5	13:00～17:30
第6回	2002年11月28日	日本ユニシス本社 6階 セミナーA	13:00～17:30
第7回	2002年12月20日	NTTコムウェア本社 品川 TWINS アネックスビル 17階 第2,3 会議室	14:00～17:00
第8回	2003年1月30日	NTTコムウェア本社 品川 TWINS アネックスビル 17階 第2,3 会議室	13:00～17:10
第9回	2003年2月21日	NTTコムウェア本社 品川 TWINS アネックスビル 17階 第2,3 会議室	13:00～17:10
第10回	2003年3月27日	NTTコムウェア本社 品川 TWINS アネックスビル 17階 第2,3 会議室	13:00～17:10

VoiceXML 部会

回数	開催日	開催場所	時間
第7回	2002年4月18日	NEC 本社ビル 地下 多目的ホール	14:00～17:30
第8回	2002年6月21日	マイクロソフト株式会社 新宿オフィス 17階セミナールーム1	14:00～17:30
第9回	2002年8月23日	株式会社日立製作所 日立本社ビル1F 大会議室	14:00～17:30
第10回	2002年10月9日	キャンパスプラザ京都 第2講義室	14:30～17:30
第11回	2003年3月7日	沖電気工業(株)目黒クラブ 401 会議室	14:30～17:30

ドキュメント部会

開催日	共催	開催場所	時間
2002年4月22日	「DTPソフトのXML機能」検討会	日本電子出版協会 会議室	16:00～17:30
2002年6月21日	XML 化研究セミナー 14 AVANAS 組版ソフトによるXMLソリューション	文化産業信用組合 3F 会議室	15:00～17:00
2002年7月26日	XML Spy セミナー Webドキュメントソリューションの紹介	文化産業信用組合 3F 会議室	15:00～17:00
2002年8月8日	XML 化研究セミナー 16 FrameMaker 7.0 紹介	文化産業信用組合 3F 会議室	15:00～17:00
2002年9月26日	XML 化研究セミナー 17 XML Web サービス紹介	文化産業信用組合 3F 会議室	15:00～17:00
2002年11月14日	XML 化研究セミナー 18 XML Automagic と EDicolor	文化産業信用組合 3F 会議室	15:00～17:00
2002年12月5日	XML Fortmatter	文化産業信用組合 3F 会議室	15:00～17:00
2002年12月20日	たまたま紙だった 2002	文化産業信用組合 3F 会議室	14:00～16:00

2003年1月27日	第20回 e-Publisher 説明会	文化産業信用組合 3F 会議室	15:00 ~ 17:00
2003年2月4日	XML 化研究セミナー第21回「BTONIC 説明会」	岩波書店セミナールーム	15:00 ~ 17:00
2003年2月6日	Page2003 併設セミナー NewsML セミナー	池袋サンシャインシティ&文化会館 7階 710 会場	13:00 ~ 17:00

ContactXML 部会

回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2002年6月19日	インフォテリア株式会社 本社	14:00 ~ 15:30
第2回	2002年7月4日	インフォテリア株式会社 本社	10:30 ~ 12:00
第3回	2002年9月5日	インフォテリア株式会社 本社	10:30 ~ 11:45
第4回	2002年12月19日	株式会社クレオ 本社会議室	14:00 ~ 16:00
第5回	2003年2月24日	インフォテリア本社 L 会議室	18:30 ~ 20:30
第6回	2003年3月12日	インフォテリア本社 L 会議室	18:30 ~ 20:30

Travel XML 標準化部会

回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2003年3月6日	NTT データ茅場町タワーオフィス 9F プレゼンテーションルーム A・B	16:30 ~ 18:00

Contents 利用情報標準化部会

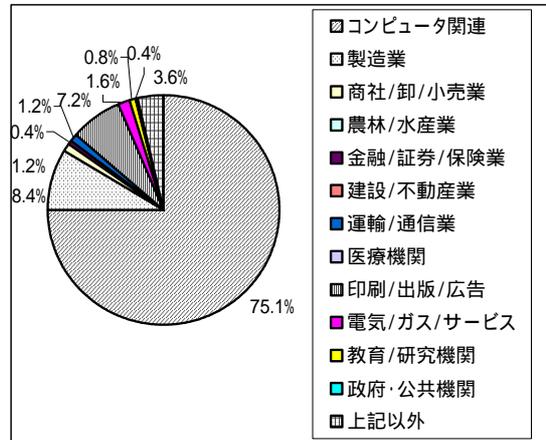
回数	開催日	開催場所	時間
第1回	2003年3月7日	NTT データ茅場町タワーオフィス 9F プレゼンテーションルーム A・B	15:30 ~ 16:30

4. 2002年度XML普及度調査アンケート集計結果

XMLコンソーシアム2002年度「XML & Webサービス普及度アンケート」集計結果	
実施期間: 2002/12/27 ~ 2003/01/21 回収総数: 237件 / 263会員 = 90.1%	

1. 主要業種

コンピュータ関連	187	75.1%
製造業	21	8.4%
商社/卸/小売業	3	1.2%
農林/水産業	0	0.0%
金融/証券/保険業	1	0.4%
建設/不動産業	0	0.0%
運輸/通信業	3	1.2%
医療機関	0	0.0%
印刷/出版/広告	18	7.2%
電気/ガス/サービス	4	1.6%
教育/研究機関	2	0.8%
政府・公共機関	1	0.4%
上記以外	9	3.6%
合計	249	



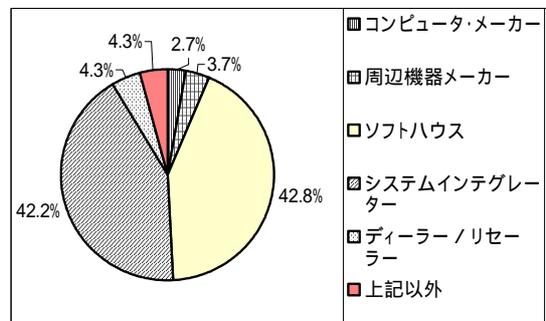
「上記以外」 - > 詳細

- ・ ハード、ソフト、サービスを核とする情報処理全般
- ・ 統合エンジニアリングサービス
- ・ IT関連のアウトソーサー
- ・ 報道
- ・ マイクロフィルムを基本とする情報媒体の変換業務
- ・ 著作権使用許諾管理
- ・ 人材派遣およびIT教育
- ・ 技術支援
- ・ コンサルティング

製造業の会員が増えました!

2. コンピュータ関連の内訳

コンピュータ・メーカー	5	2.7%
周辺機器メーカー	7	3.7%
ソフトハウス	80	42.8%
システムインテグレーター	79	42.2%
ディーラー/リセラー	8	4.3%
上記以外	8	4.3%
合計	187	

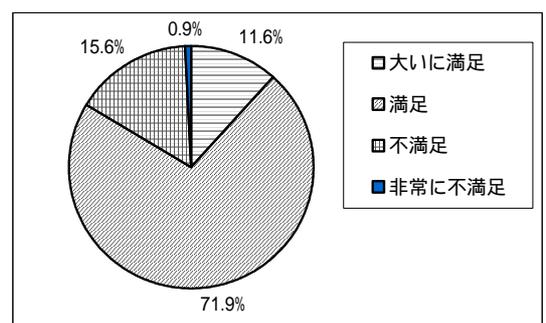


「上記以外」 - > 詳細

- ・ ビジネスプロデュース
- ・ IT技術者の養成、SI
- ・ コンテンツプロバイダー
- ・ 情報処理
- ・ 技術書の翻訳と執筆
- ・ ソフトウェアベンダー
- ・ 教育関連
- ・ 教育サービス

3. コンソーシアムのこれまでの活動に対する評価

大いに満足	26	11.6%
満足	161	71.9%
不満足	35	15.6%
非常に不満足	2	0.9%
合計	224	



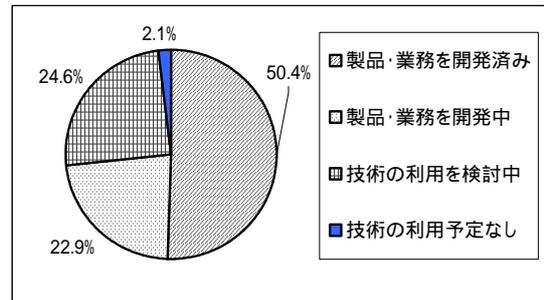
4. XML普及度アンケート

1) XMLに対する取り組み状況

製品・業務を開発済み	122	50.6%
製品・業務を開発中	55	22.8%
技術の利用を検討中	59	24.5%
技術の利用予定なし	5	2.1%
合計	241	

開発済み製品・業務リストについては別紙

前回調査に比べ、開発済み+開発中=増加です！！
XML関連ビジネスを行っている会員さんでも
「XML技術利用予定なし」と回答されているケースがあります。
精査結果では、利用予定なしは1%未満となりました。



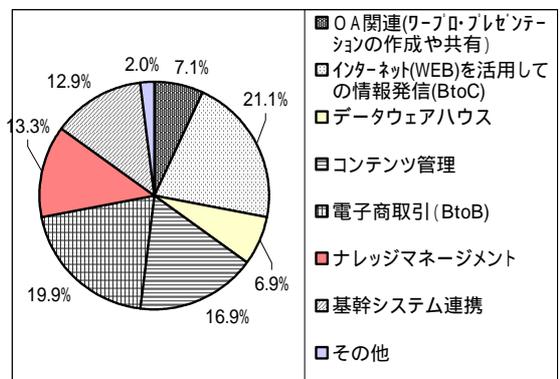
2) XML技術の適用領域

(複数選択可)

OA関連(ワークフローの作成や共有)	57	7.1%
インターネット(WEB)を活用しての情報発信(BtoC)	170	21.1%
データウェアハウス	56	6.9%
コンテンツ管理	136	16.9%
電子商取引(BtoB)	160	19.9%
ナレッジマネジメント	107	13.3%
基幹システム連携	104	12.9%
その他	16	2.0%
合計	806	

「その他」 -> 詳細

- 異なるプラットフォーム間のあらゆるデータ交換に適している
- 個々に意味合いのあるデータとして表現したい場合、全般。
- 医療情報
- 電話端末を利用した情報伝達
- デバイス間通信等の機器自体のエンジンにも適用可能
- 列車ダイヤ情報?
- 特定分野に限らず、さまざまな技術のインフラとして
- 使える範囲は非常に広い
- DTP等印刷物への展開
- EIP
- EAI
- 技術マニュアル、公文書、様々な構造化ドキュメント
- インターネット(Web)を活用しての情報発信(BtoB)



前回調査に比べ、データウェアハウスとナレッジマネジメントの比率が増加しました。

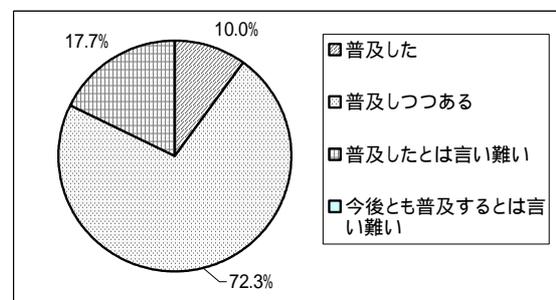
3) IT業界におけるXML技術の普及度合い

普及した	23	10.0%
普及しつつある	167	72.3%
普及したとは言い難い	41	17.7%
今後とも普及するとは言い難い	0	0.0%
合計	231	

前回調査に比べ「普及した」が7%増えました！

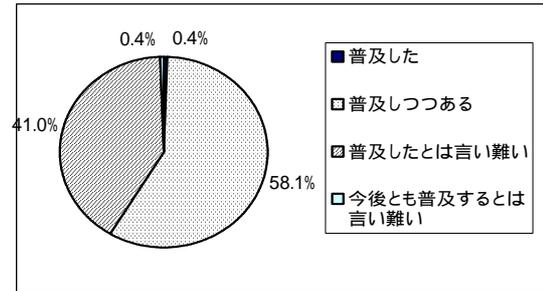
「普及したとは言い難い」コメントからの抜粋

- 開発ツール、XMLへの移行ツールがまだまだ不十分
- 見えない部分ではかなり普及しているが、限られた所で使われているように思われる
- 金融関連ではこれから普及すると思われる
- メーカーが先行しているだけで、他がついてきていない



4) ユーザー企業におけるXML技術の普及度合い

普及した	1	0.4%
普及しつつある	133	58.1%
普及したとは言い難い	94	41.0%
今後とも普及するとは言い難い	1	0.4%
合計	229	



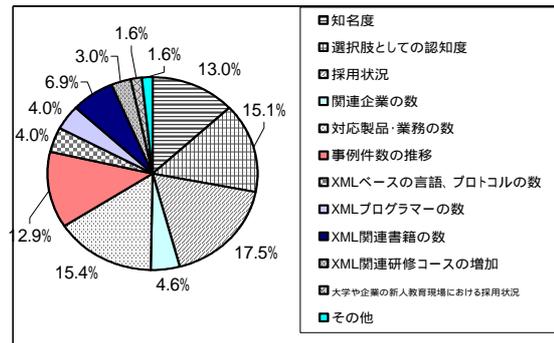
「普及したとは言い難い」コメントからの抜粋

- ・個別活用は進んでいるが情報交換基盤としての標準化や活用が十分ではない
- ・業務とXML技術のマッチングがイメージ出来ていない
- ・XML化に伴うメリットを享受できるほどの魅力的なソフトがない
- ・XMLを使わなくとも、課題解決できる。
- ・XMLのメリットが理解できていない

5) 普及度合いの判定基準

(複数選択可)

知名度	87	13.0%
選択肢としての認知度	101	15.1%
採用状況	117	17.5%
関連企業の数	31	4.6%
対応製品・業務の数	103	15.4%
事例件数の推移	86	12.9%
XMLベースの言語、プロトコルの数	27	4.0%
XMLプログラマーの数	27	4.0%
XML関連書籍の数	46	6.9%
XML関連研修コースの増加	20	3.0%
大学や企業の新人教育現場における採用状況	11	1.6%
その他	11	1.6%
合計	667	

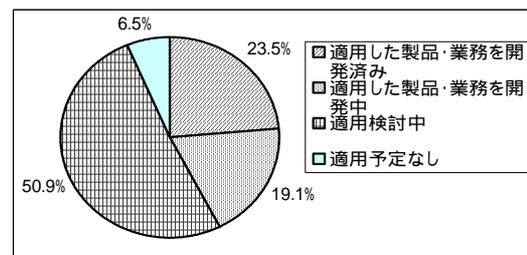


前回調査に比べ、「採用状況」および「対応製品・業務の数」が増加しました！

5. Webサービス普及度アンケート

1) Webサービスに対する取り組み状況

適用した製品・業務を開発済み	54	23.5%
適用した製品・業務を開発中	44	19.1%
適用検討中	117	50.9%
適用予定なし	15	6.5%
合計	230	

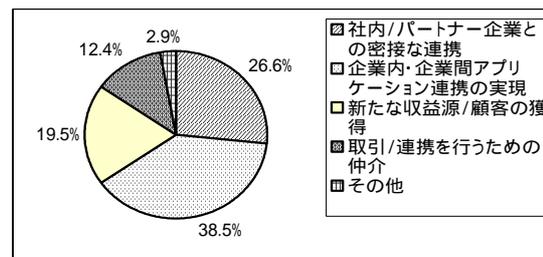


開発済み製品・業務リストについては別紙

前回調査に比べ、「開発済み」が増加しました！

2) Webサービスを適用したい領域

社内/パートナー企業との密接な連携	101	26.6%
企業内・企業間アプリケーション連携の実現	146	38.5%
新たな収益源/顧客の獲得	74	19.5%
取引/連携を行うための仲介	47	12.4%
その他	11	2.9%
合計	379	



「その他」 -> 詳細

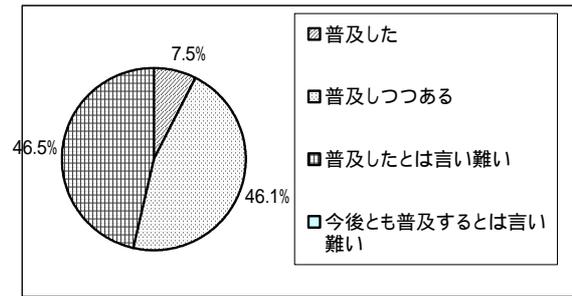
- ・素材としてのSOAP、WSDL
- ・疎な結合にてのアプリケーションのやり取りに適しているもの。
- ・医療関連情報の提供
- ・デバイス間の相互接続及び動作
- ・インターネットを介したシステム間の疎な連携
- ・エンターテインメント分野
- ・組み込み機器など非PCデバイスとの連携
- ・組み込み機器の監視制御
- ・普遍的な標準技術による、恒久的なサービス体系

3) IT業界におけるWebサービス技術の普及度合い

普及した	17	7.5%
普及しつつある	105	46.1%
普及したとは言い難い	106	46.5%
今後とも普及するとは言い難い	0	0.0%
合計	228	

「普及したとは言い難い」コメントからの抜粋

- ・金融業界はこれから普及の過渡期に入るとされる
- ・商用ベースを含めてオープンなWebサービスがない
- ・大半はEarly Adaptorの状況注視
- ・多種多様な製品、技術が乱立し安定していない
- ・まだビジネスモデルが明確になっていない
- ・具体的、実用的な事例が少ない

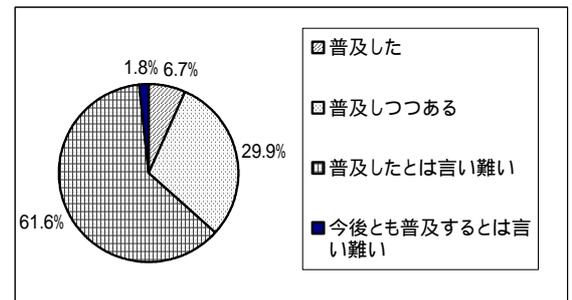


4) ユーザー企業におけるWebサービス技術の普及度合い

普及した	15	6.7%
普及しつつある	67	29.9%
普及したとは言い難い	138	61.6%
今後とも普及するとは言い難い	4	1.8%
合計	224	

「普及したとは言い難い」コメントからの抜粋

- ・技術先行に過ぎる、実益見えず、話題にすらなっていない
- ・実ビジネスにつながっていない
- ・ビジネスプランが作れない
- ・利用したくて、かつ利用しやすいサービスが登場していない
- ・現実の業務への適用はこれから
- ・Webサービスのメリットをどう活かすかについて判断ができていないため、既存技術での対応が継続しているように思える

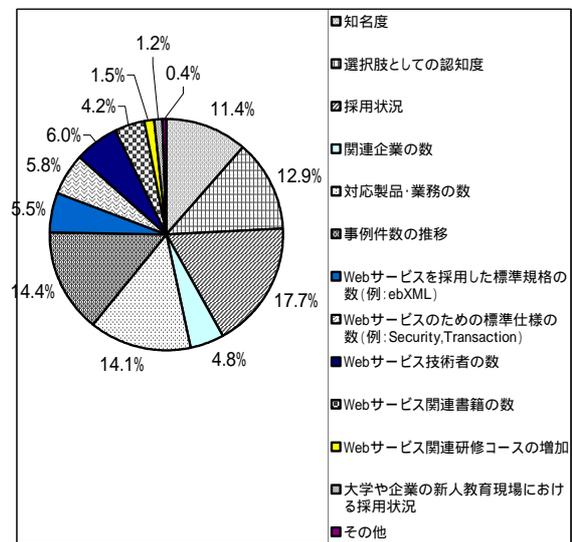


5) 普及度合いの判定基準

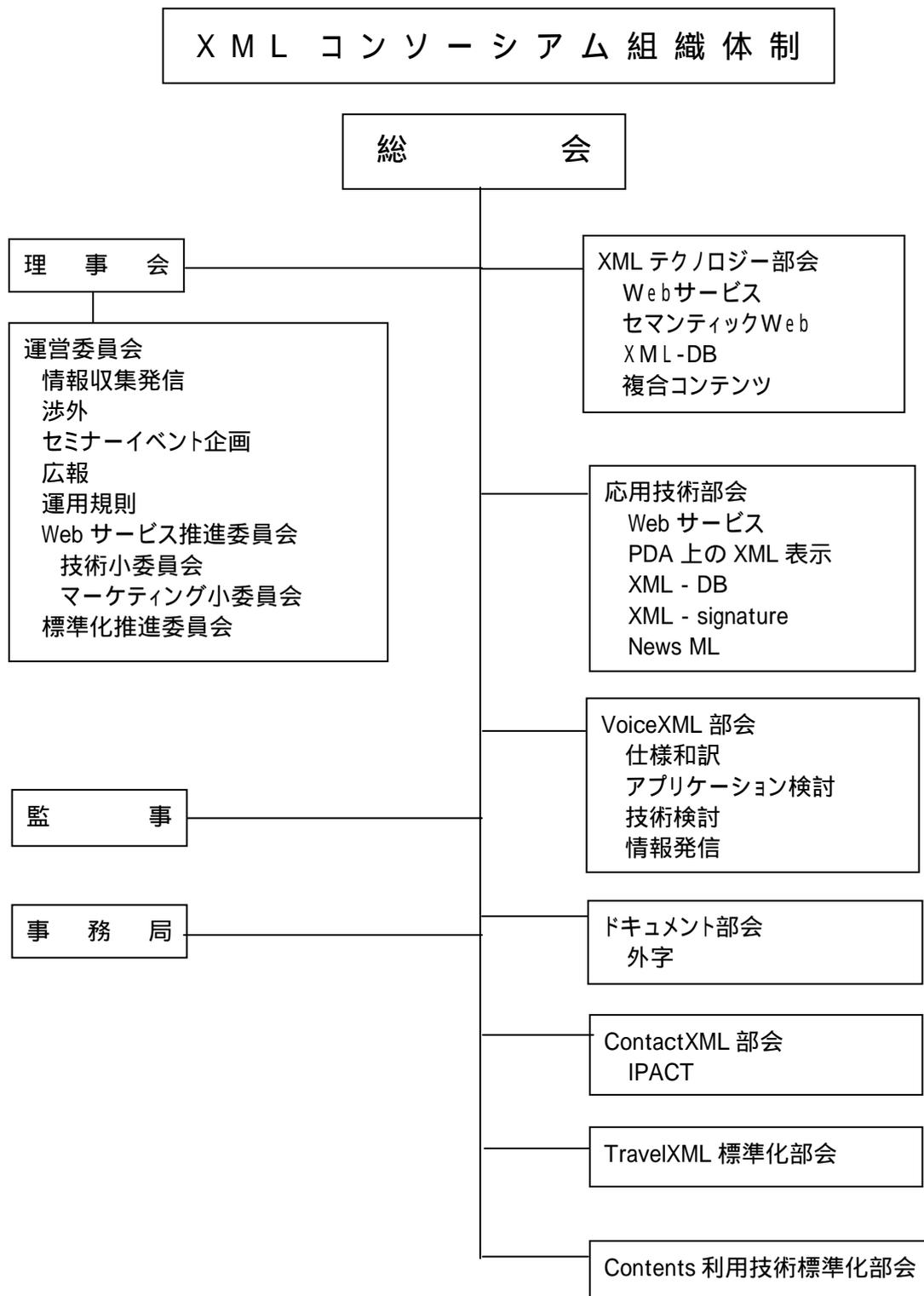
(複数選択可)

知名度	76	11.4%
選択肢としての認知度	86	12.9%
採用状況	118	17.7%
関連企業の数	32	4.8%
対応製品・業務の数	94	14.1%
事例件数の推移	96	14.4%
Webサービスを採用した標準規格の数(例: ebXML)	37	5.5%
Webサービスのための標準仕様の数(例: Security, Transaction)	39	5.8%
Webサービス技術者の数	40	6.0%
Webサービス関連書籍の数	28	4.2%
Webサービス関連研修コースの増加	10	1.5%
大学や企業の新人教育現場における採用状況	8	1.2%
その他	3	0.4%
合計	667	

判定基準は、やはり「採用状況」と「事例件数」です!



5.2003年度 XMLコンソーシアム組織



6. 2003年度 部会活動計画

(1) XML テクノロジー部会 活動要綱

活動目的

XML に関する様々な基盤技術、応用技術に関して、技術蓄積、分析、評価を行い、それらの技術の実用可能性を検証するとともに、新たな適用分野、モデルを提案していく。

活動内容

- ・標準、フレームワークなどの基盤技術の収集
- ・応用事例の調査
- ・ビジネスモデル、アプリケーションモデルの検討
- ・ツールなどの実装系の調査、比較
- ・試作による技術検証

2003年度の重点施策

2003年度は最終年度であり、活動成果の総まとめと会員・非会員へのフィードバックを重視して活動する。

(1) XML 関連技術動向のまとめ

- ・技術マップ・標準マップの作成
- ・事例(ソリューション)・製品・規格の一覧など、これまでの活動成果の見直しと最新版の作成
- ・ビジネスモデルの分類、分析

(2) 積極的な対外アピール

- ・標準・技術文書の和訳作成と公開
- ・出版、雑誌記事の執筆
- ・関連外部団体とのジョイント活動

(3) 活動の総仕上げとしての実証実験

- ・WGの担当技術をもちより、部会全体として実証システムを試作する。
応用部会とのジョイント活動も検討する。
(テクノロジー部会でモデル提案、応用部会で実装など。)

(4) 定常的な活動の充実による参加者の増大

- ・メールマガジンまたはWebzineによる活動内容・状況の定期的な紹介
- ・ミーティング併設セミナーの充実(外部講師招聘など)
- ・ホームページの作成とコンテンツの充実

活動方法

- ・新年度に向けてのオリエンテーションを応用技術部会と合同で開催
- ・メンバー全員による月例ミーティング、WG別ミーティングの開催
- ・メーリングリストによる日々の情報交換、ディスカッション
- ・参加メンバー個人によるテーマ別の調査報告の実施
- ・事例紹介セミナーの企画・開催
- ・XMLコンソーシアム他部会および他団体との協調による普及推進
- ・学会、他研究機関との連携
- ・Webページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成
- ・XMLコンソーシアムDay、XMLコンソーシアムWeekでの活動報告

会員メリット/活動成果

- ・XML関連情報・ノウハウの取得
- ・XML技術動向の最新キャッチアップ
- ・メンバーで膨大な情報を分担、料理した上で共有!
- ・将来ビジネスのための基礎情報取得
- ・参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

体制

昨年度(2002年度)の体制・WG構成は以下のとおり。

今年度(2003年度)の体制・WG構成は最初のミーティング(6月予定)で協議する。

(1) リーダ・サブリーダー

リーダー:	日本ユニシス	牧野友則
	NTTソフトウェア	奥山信輔
サブリーダー:	ジャストシステム	野村直之
	日本ユニシス	小林茂
	日本ユニシス	根来元
	日本IBM	天野富夫

(2) ワーキンググループ構成

(A) Web サービス WG

リーダー:	日本IBM	天野
サブリーダー:	日本ユニシス	牧野

活動内容:

活動テーマ候補:

- (a) Web サービスのアプリケーション・フレームワーク
- (b) Web サービス・コア規格調査
- (c) Web サービス・セキュリティ・モデル検討
- (d) Web サービスとユーザーインタフェース
- (e) グリッドコンピューティング

(B) セマンティック Web WG

リーダー:	ジャストシステム	野村
サブリーダー:	フジミック	大阪

活動テーマ:

- (a) 常識検索
- (b) 汎用アプリ構築
- (c) 既存ツールの調査
- (d) セマンティック Web 利用 Web サイトの調査
- (e) 規格調査
- (f) メタデータ自動生成
- (g) メタデータ変換
- (h) セマンティック Web 用の XML-DB
- (i) セマンティック Web とセキュリティ

(C) XML-DB WG

リーダー:	NTTソフト	山本
サブリーダー:	ジャストシステム	赤井

活動テーマ:

- (a) XQuery

(D) 複合コンテンツ WG

リーダー:	NTTソフト	奥山
サブリーダー:	情報技術開発	高橋
	ネクストソリューション	加藤

活動テーマ:

- (a) マルチメディア系規格・ツール、アプリケーション調査、モデル検討
- (b) 複合コンテンツハンドリングフレームワーク検討

連絡先

活動内容についてのご意見・ご質問は以下におねがいます。
leader-tech@xmlconsortium.org

2002年度 XMLテクノロジー部会活動実績

4月～8月は基盤技術部会、モデル研究部会として活動。
9月に両部会を統合し、XMLテクノロジー部会として活動。

(1) 月例ミーティング開催

--- 4月～6月は基盤技術部会、モデル研究部会として個別に活動 (詳細略)

(モデル) 第10回ミーティング 2002年4月12日(金)
(基盤) 第10回ミーティング 2002年4月18日(木)
(モデル) 第11回ミーティング 2002年5月17日(金)
(基盤) 第11回ミーティング 2002年5月24日(木)

--- 7月～8月は同一日に合同で開催

(基盤・モデル) 第12回ミーティング 2002年7月18日(木)
(基盤・モデル) 第13回ミーティング 2002年8月30日(金)

講演: ・WS-Security について

... 日本アイ・ビー・エム 羽田知史氏

・次世代コンテンツ言語 Curl を用いた Web サービス

... 日本テレコム 長谷川憲氏

--- 9月以降はXMLテクノロジー部会として活動

第1回ミーティング 2002年9月19日(木) NTTソフトウェア横浜本社

講演: ・XML-DBと次世代情報システム

... ジャストシステム 野村直之氏

第2回ミーティング 2002年10月17日(木) NTTソフトウェア横浜本社

講演: ・SOAP1.2の新機能 (Web サービス WG)

... マイクロソフト 増田吉宏氏

・SMIL2.0とXHTML+SMILの紹介 (複合コンテンツ WG)

... ネクストソリューション 加藤上直氏

NTTソフトウェア 奥山信輔氏

第3回ミーティング 2002年11月21日(木) 日本ユニシス本社

講演: ・Semantic Web について (Semantic Web WG)

... ジャストシステム 野村直之氏

・XQuery について (XML-DB WG)

... 日本アイ・ビー・エム・システムズ・エンジニアリング 大庭幹生氏

NTTソフトウェア 山本浩一氏

第4回ミーティング 2002年12月19日(木) NTTソフトウェア横浜本社

講演: ・EAIとWebサービスの適用 (Web サービス WG)

... JIEC 坂下秀彦氏

・米国のプロビジョニング企業の調査報告 (Web サービス WG)

... 富士通 棚橋一也氏

第5回ミーティング 2003年1月23日(木) 日本ユニシス本社

講演: ・MVCフレームワークを利用したXML複合文書ハンドリング例
(複合コンテンツ WG)

... 情報技術開発 高橋洋氏

第6回ミーティング 2003年2月20日(木) NTTソフトウェア横浜本社

講演: ・Webサービスの現在と本格活用に向けて (Web サービス WG)

... 日本アイ・ビー・エム 天野富夫氏

第7回ミーティング 2003年3月20日(木) NTTソフトウェア横浜本社

第8回ミーティング 2003年4月23日(水) NTTソフトウェア横浜本社

(2) 部会活動成果発表

--- 第1回XMLコンソーシアム Week では基盤技術部会、モデル研究部会として

--- 個別に発表

第1回XMLコンソーシアム Week 2002年5月27日~6月14日

- (基盤)
- ・XML Schema の主な機能と動向
 - ... 情報技術開発 高橋洋氏
 - ジャストシステム 赤井靖雄氏
 - ・XSL の活用と技術内容の紹介
 - ... ネクストソリューション 加藤上直氏
 - 日本ユニシス 小林茂氏
 - ・SVG、XHTML 中心の複合文書で、異メディア間で文字列を使い回す
 - ... フジミック 大坂哲司氏
 - ・セキュリティ関連 XML 規格の紹介
 - ... ミノルタ 上田隆司氏
 - 富士ゼロックス 道村唯夫氏
 - 沖電気工業 池上勝美氏
 - ・常識を備えた SemanticWeb のエージェントに検索させてみる
~『若い奴は演歌は聴かない』って知ってる検索エンジンの試作イメージ
 - ... ジェー・アイ・イー・シー 大泉英之氏
 - 法政大学 野村直之氏
 - ・付箋紙を XLink で動かしてみる ~こんなビジュアル効果はどう?
 - ... フジミック 大坂哲司氏
 - ・Web サービス技術動向とシステム構築における考察
 - ... ジャステック 中村知義氏
 - 日本ユニシス 牧野友紀氏

- (モデル)
- ・組み込みシステムとXML
 - ... 富士電機 梅崎一也氏
 - ・組み込み分野におけるシステムモデルの一例
 - ... ミノルタ 白澤俊哉氏
 - ・XML を用いたマルチメディアコンテンツシステム
 - ... ネクストソリューション 加藤上直氏
 - NTTソフトウェア 奥山信輔氏
 - ・事例から探る Web サービスのビジネスモデル
 - ... 日本アイ・ピー・エム 天野富夫氏
 - ・レガシーAP をどのように Web サービス化するか
 - ... NTTソフトウェア 妹尾正身氏
 - 富士通 前田隆之氏

--- 第3回XMLコンソーシアム Day 以降はXMLテクノロジー部会として発表

第3回XMLコンソーシアム Day 2002年11月7日~8日

- ・SMIL が作るマルチメディア Web の世界
 - ... ネクストソリューション 加藤上直氏
 - NTTソフトウェア 奥山信輔氏
- ・XQuery ってどんなもの?
 - ... 日本アイ・ピー・エム・システムズ・エンジニアリング 大庭幹生氏
 - NTTソフトウェア 山本浩一氏
- ・W3C SOAP1.2 Update Review
 - ... マイクロソフト 増田吉宏氏
- ・インターネット公開 Web サービスの配置・展開の考察

- ... 日本ユニシス 牧野友紀氏
 - ・SemanticWeb が実現する次世代インターネットの世界
 - ～ 知識管理とビジネス高度化のために SemanticWeb は「使える」か
 - ... ジャストシステム 野村直之氏
- 第4回 XML コンソーシアム Day 2003年3月4日～5日
- ・海外のプロビジョニング企業の事例研究
 - ... 富士通 棚橋一也氏
 - ・セマンティック Web の動向とメタデータ
 - ... ジャストシステム 野村直之氏
 - 日本ユニシス 小林茂氏
 - ・MVC フレームワークにおける XML コンテンツハンドリング
 - ... 情報技術開発 高橋洋氏
 - ・SMIL を用いた Web セミナーシステム
 - ... ネクストソリューション 加藤上直氏
- 第2回 XML コンソーシアム Week 2003年5月26日～6月3日(予定)
- ・SemanticWeb の概要と応用展望
 - ・メタデータ利用の効果
 - ～メタデータ標準の活用事例
 - ～メタデータ自動抽出の要素技術はどこまでいけるか？」
 - ・XHTML, SVG に RDF を埋め込んで Web サマリー生成コントロール (RSsS)
 - ・ネイティブ XML-DB に格納した XML (SVG データ) を XQuery で検索するツールのデモ
 - ・Web サービスの使いかた -Web サービスによるアプリケーション連携の真相-
 - ・マルチメディア Web の現状と応用
- (3) 外部セミナーでの講演
- NET&COM2003 2003年2月5日～7日
- 日本アイ・ピー・エム 天野富夫氏 (Web サービス WG)
- (4) 仕様和訳
- W3C ワーキングドラフト XML Query Use Cases の翻訳と公開 (XML-DB WG)
- <http://www.xmlconsortium.org/wg/tech/WD-xmlquery-use-cases-20021115-Japan-clean.htm>
- NTT ソフトウェア 山本浩一氏
- 富士インフォックスネット 藤孝幸氏
- 日本オラクル 秋本尚吾氏
- 日本ユニシス 根来元氏

(2) 応用技術部会 活動要綱

目的

- ・XML を実システムに適用するにあたり、多くの技術者が抱えている技術的な課題の解決手段をみずから発見するとともに公開し、XML 技術の向上および普及に努める。

活動内容

- ・プロotyping
 - XML 応用規格の利用方法に関する評価
 - 例: SML-Signature 利用技術検討
 - SAML 利用技術検討
 - Xpath 利用技術検討
 - XML 応用規格を利用したプロタイプシステム開発
 - 例: SVG 利用システム
 - SMIL 利用システム
 - Web サービス利用システム
 - 実用システムのプロタイプ開発
 - 例: 教育システム
 - データ交換システム
 - コンテンツ管理システム
 - リポジトリシステム
- ・XML 関連プロダクトの評価
 - 関連製品のリストアップ
 - 性能評価
- ・XML 応用技術の普及・推進
 - 定例セミナー・総会等での発表
 - 学会、雑誌等での発表
 - Web ページによる情報の発信
 - 製品紹介セミナーの開催

活動方法

- ・メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催
 - Working Group 別の月例ミーティングの開催
 - 製品紹介セミナーの開催
 - メーリングリスト活用による日々の情報交換, Q&A 等
- ・他部会との連携

活動成果・メリット

- ・XML 関連情報・ノウハウの取得
 - 評価・プロotyping
 - 作成した評価報告書およびプロタイプのソースコードの作成及び公開
 - 製品紹介
 - 各企業での製品利用のきっかけに利用してもらう
 - 参加企業間での情報交換・人的/ビジネス・ネットワークの構築
- ・情報公開
 - Web サイトでの評価報告・プロタイプの公開
 - 学会、雑誌等での発表
- ・参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

参加資格

- ・XML コンソーシアムの会員で XML(特に応用技術)に高い関心を有すること
- ・定例ミーティング又はメーリングリスト, 総会・セミナー実施等の活動に参加できて, 部会の活動に参加可能なこと

スケジュール概要

- ・月1回程度の定例ミーティングの開催
- ・XMLコンソーシアムとしてのイベント等に参加

体制

昨年度(2002年度)の体制・WG構成は以下のとおり。
今年度(2003年度)の体制・WG構成は6月の部会にて協議する。
新年度に向けて合同でオリエンテーションを行う。

(1) リーダ・サブリーダー

リーダー	NTTコムウェア	平野光徳
サブリーダー	日立製作所	大場みち子
	NTTソフトウェア	山本浩一

(2) ワーキンググループ構成

(A) Web サービス WG

リーダー: PFU アクティブラボ 松山

(B) データベース WG

リーダー: エヌピーシステムドットコム 赤井

(C) PDA WG

リーダー: ミノルタ 的場

(D) セキュリティ WG

リーダー: ミノルタ 奴久妻

(E) NewsML WG

リーダー: 日本 IBM 藤原

2002年度活動報告

第1回応用技術部会

日時: 2002年7月4日(木) 1:30 ~
会場: NTTコムウェア本社
内容: 新年度テーマ選定、各WG活動
製品紹介 - ビーコン IT: Tamino

第2回応用技術部会

日時: 2002年7月25日(木) 1:00 ~
会場: 日本IBM本社
内容: 各WG活動、全体会合
製品紹介 - アイオナ: Orbix

第3回応用技術部会

日時: 2002年8月22日(木) 1:00 ~
会場: 日立製作所本社
内容: 各WG活動、全体会議
製品紹介 - エヌピーシステムドットコム: Formlet 等

第4回応用技術部会

日時: 2002年9月26日(木) 1:00 ~
会場: 日本ユニシス本社
内容: 各WG活動、全体会議
製品紹介 - マイクロソフト: .NET 等

第5回応用技術部会

日時: 2002年10月24日(木) 1:00 ~
会場: 日本ユニシス本社
内容: 各WG活動、全体会議

製品紹介 - 日本オラクル: Oracle9i Release2

第6回応用技術部会

日時: 2002年11月28日(木) 1:00 ~

会場: 日本ユニシス本社

内容: 各WG活動、全体会議

製品紹介 - 日本IBM: DB2

第7回応用技術部会

日時: 2002年12月20日(金) 2:00 ~

会場: NTTコムウェア本社

内容: 各WG活動、全体会議

第8回応用技術部会

日時: 2003年1月30日(木) 1:00 ~

会場: NTTコムウェア

内容: 各WG活動、全体会議

製品紹介 - 三井物産: NeoCore

第9回応用技術部会

日時: 2003年2月21日(金) 1:00 ~

会場: 日本ユニシス

内容: 各WG活動、全体会議

製品紹介 - PolarLake: XMLサーバプラットフォーム

第10回応用技術部会

日時: 2003年3月27日(木) 1:00 ~

会場: NTTコムウェア本社

内容: 各WG活動、全体会議

製品紹介 - プロキューブ: TagStore

第11回応用技術部会

日時: 2003年4月24日(木) 1:00 ~

会場: 日本オラクル本社

内容: 各WG活動、全体会議

第12回応用技術部会(予定)

日時: 2003年5月16日(金) 1:00 ~

会場: 日本ユニシス

内容: 各WG活動、全体会議

連絡先

活動内容についてのご意見・ご質問は以下におねがいします。

leader-app@xmlconsortium.org

(3) VoiceXML 部会 活動要綱

2002 年度 部会活動記録

部会活動として以下に示す 4 回の定例部会を実施し、Voice XML の普及並びに応用例の紹介と議論を実施しました。

(1) VoiceXML 部会 第 8 回定例部会

日時: 2002 年 6 月 10 日 場所: マイクロソフト新宿オフィス

幹事: MIT システム研究所

内容: VoiceXML 部会のリーダー交代・新しい体制の紹介・承認

「音声対話型コミュニケーション放送実験」米澤 恵(日立製作所)

「組込み系音声システムの現状および今後の展開について」井上 直矢(コムスクエア)

部会活動報告

(2) VoiceXML 部会 第 9 回定例部会

日時: 2002 年 8 月 23 日 場所: (株)日立製作所 本社ビル

幹事: (株)日立製作所

内容: VoiceXML 関連無償開発ツールのご紹介(日本 IBM/村上様)

SALT のご紹介(マイクロソフト/金子様)

音声合成の JEITA 標準化について(ソニー/赤羽様)

部会活動報告

(3) VoiceXML 部会 第 10 回定例部会

日時: 2002 年 10 月 9 日 場所: キャンパスプラザ京都

幹事: オムロン(株)

内容: 「人と機械の音声対話」奈良先端科学技術大学院大学 鹿野清宏 教授

「音声対話システムにおける協調的応答とユーザモデル」京都大学 河原達也 助教授

「オムロンの VoiceXML ソリューション-新製品と新技術のご紹介」

オムロン 八竹英紀 氏

部会活動報告

(4) VoiceXML 部会 第 11 回定例部会

日時: 2003 年 3 月 7 日 場所: 沖電気目黒クラブ

幹事: 沖電気工業(株)

内容: 「通信ソフトウェアから Voice XML への期待」創価大学 太田 理 教授

「メディアサーバ」 沖電気工業 畠中 啓 氏

「Voice over IP における音質評価」 沖電気工業 井坂 正純 氏

部会活動報告

2002 年度 WG 活動報告

定例部会以外に部会メンバに WG に参加してもらい、研究を進めています。以下に WG とその活動内容を示します。

・技術検討 WG:

Voice XML の国際標準に対して、日本語(特に漢字)の対応をどうするかを中心に研究を進めている WG。

・和訳 WG:

Voice XML の国際標準を和訳し、普及を目指す WG。

情報発信 WG: 部会及び WG の活動結果を HP 上に掲載し、部会メンバに周知する WG。

アプリケーション検討 WG: Voice XML のアプリケーションへの応用、及び、音声サービス/ビジネスを研究する部会。

・マルチモーダル WG:

2002 年度新設した WG。マルチモーダルへの Voice XML への適用についての研究。

2003 年度活動予定

2003 年度は、XML コンソーシアム最後の年となることも有り、まとまった成果を出すための活動を行っていく。具体的には、従来は幹事メーカ中心であった部会を WG 中心とし、各 WG の成果を発表して、レビューをかける形としていく。また、既に成果ができていく分については、部会メンバ間の情報の共有をはかっていく。

定例部会: 5 月、9 月、12 月、3 月を予定

運営委員会及び各 WG は月 1 回程度の定例会を実施予定

(4)ドキュメント部会 活動要綱

2002年度 部会活動記録

部会活動として以下の通り、10回の新製品および新技術説明会を開催しました。

これらの会合は、出版社系の「日本電子出版協会(<http://www.jepa.or.jp>)」および印刷系の「XML Publishing Forum(<http://www.xmlpub-j.org/>)」と提携し、運営は日本電子出版協会が担当しました。

(1)AVANAS 組版ソフトによる XML ソリューション

日時: 2002年6月21日 場所:神保町 文化産業信用組合

講師:ページコンプ研究所(大日本スクリーン) 高沢様 他

内容:

- ・XMLでの組版における概要
- ・頁物組版ソフト「AVANAS-BookStudio」の概要紹介
- ・端物組版ソフト「AVANAS-Catalog/Leaf」の概要紹介

(2)Web ドキュメントソリューションの紹介

日時: 2002年7月26日 場所:神保町 文化産業信用組合

講師:東芝ITソリューション 様

内容:

1. 東芝ITソリューション、XMLツールの技術マップ
2. 取扱い製品の概要および操作説明
 - (1) DTD編集エディタ: Near&Far Designer
 - (2) XML 統合開発環境: XML Spy 4 Suite 日本語版
 - (3) スタイルシート・ジェネレータ: XStylist
 - (4) Web 配信ソリューション: X-Producer
 - (5) 組版ツール: XSL Formatter
3. 東芝ITソリューションのXMLソリューションの展望について

(3)Adobe FrameMaker 7.0 紹介

日時: 2002年8月8日 場所:神保町 文化産業信用組合

講師:アドビ・ジャパン 石原様

内容:

- ・アドビ製品の中での位置づけ(PageMaker、InDesign、FrameMaker)
- ・FrameMakerの歴史(6.0、FrameMaker+SGML6.0)
- ・FrameMaker7.0の新機能
- ・大量ドキュメント、データベース・パブリッシングの中核として
- ・クロスメディア(紙、PDF、HTML、SGML、XML)
- ・編集機能(目次、索引、相互参照、ハイパーリンク)
- ・想定ユーザとマーケット など
- ・事例紹介 = SGML から FrameMaker への変換 =

(4)XML Web サービス紹介

日時: 2002年9月26日 場所:神保町 文化産業信用組合

講師:XMLコンソーシアム Webサービス推進委員会 委員長(大塚商会) 岡部 恵造 様

内容:

- ・XMLとは
- ・XMLのビジネス利用
- ・Webサービスとは何か
- ・Webサービス事例紹介

(5)XML Automagic と EDICOLOR

日時: 2002年11月14日 場所: 神保町 文化産業信用組合

講師: キヤノンシステムソリューションズ 新井様 他

内容:

1. WordドキュメントをXMLに変換する[Word to XML]ソフトの紹介
2. XML AutoMagic With EDICOLORの基本機能についてデモンストレーション
 - ・基本操作
 - ・約款レイアウトを用いたデモンストレーション
 - ・情報誌系レイアウトを用いたデモンストレーション
 - ・対応フォントと出力データ形式についてご紹介
 - ・表組機能についてご紹介
3. XML データベースエンジンの機能と使い方の紹介

(6) XSL Formatter

日時: 2002年12月5日 場所: 神保町 文化産業信用組合

講師: アンテナハウス 小林様

内容:

- XML + XSL 自動組版のメリット
 - XSL フォーマッタのサーバでの運用
- XML + XSL による多言語組版のメリット

(7) たまたま紙だった 2002

日時: 2002年12月20日 場所: 神保町 文化産業信用組合

講師: イースト株式会社 下川様

内容:

- 読書端末の現在 = GemStar、eBookMan など =
- オンライン eBook 書店 = パピレス、10daysbook、Paburi、PDAbok.jp、SafariBook =
- 様々なデバイス = Palm、PocketPC、Zaurus、TabletPC、Smart Displayr =
- 読書ソフト = T-Time、Microsoft Reader、Adobe eBook Reader、EBIj Viewer =
- XML ドキュメント = Xdocs、Tagged PDF、Office11 =
- オンライン辞書 = e 辞林、JapanKnowledge、GroveMusic、Bitway Books =
- 消えた会社 = iPublish、Reciprocal、NetLiblary =
- NewsML = 新聞協会、共同通信、NewsBOX =

(8) e-Publisher

日時: 2003年1月27日 場所: 岩波書店セミナールーム

講師: 総合オフィスサポート福田様 他

内容:

1. XML ビジネスの取り組み(総合オフィスサポート)
2. 印刷業における XML ビジネスの可能性(ドキュメント・エンジニアリング研究所)
3. XML 入力編集ツール「e-publisher」の紹介

(9) XML ドキュメント全文検索エンジン BTONIC

日時: 2003年2月4日 場所: 岩波書店セミナールーム

講師: イースト株式会社 下川様

内容: BTONIC とは? 仕組み、特徴、運営方法など

- ・適用可能な XML ドキュメント
- ・BTONIC + .NET フレームワークによる XML Web サービスの実現
- ・事例紹介
 - 三省堂.NET と SOAP インタフェース体験サイト
 - JapanKnowledge との SOAP 結合
 - 世界音楽大事典 GroveMusic.jp
 - NewsML 縦書き新聞記事検索

書協 Books と国語研究所 JiBOOKS
イントラネット対応、CD-ROM 版の作成

(10) NewsML 最新動向

日時: 2003 年 2 月 6 日 場所: 池袋サンシャインシティ & 文化会館 7 階
講師: 日本 IBM 藤原様他、日本新聞協会有志
内容: NewsML 紹介、NewsBOX 紹介

2003 年度活動予定

(1) セミナーの開催

2003 年度も、三団体の枠組みを継続し、以下のような製品紹介を予定しています。

- ・Office 2003 の XML 機能
- ・Adobe Acrobat 6

また、会場費を参加者にご負担にいただいておりますが、無料会場の確保について、検討します。

(2) XML 出版ガイドブック(仮称)の制作協力

XML パブリッシングフォーラムで策定予定の「XML を使った出版ガイドブック」(仮称)の制作に協力します。

(3) XHTML2.0 仕様検討

XHTML2.0 の出版ドキュメント構造記述への応用について、検討します。

体制

- ・リーダー: イースト 下川 和男
- ・サブリーダー: 日本オラクル 鈴木 俊宏
日本 IBM 藤原 隆弘

(5) ContactXML 部会 活動要綱

目的

- ・ContactXML 仕様に関する開発・制定・情報公開・情報交換等の活動を通じ ContactXML 仕様の普及啓蒙活動を行う
- ・ContactXML 仕様を活用したビジネスへのマーケティングによる後方支援を行う

活動内容

- ・ContactXML 仕様の開発・制定・標準化
- ・ContactXML の適用研究・事例収集
- ・ContactXML 仕様に関する情報の収集、交換ならびに提供を行う場としての部会運営
- ・HR-XML など、国内外の他コンソーシアムとの連携協力
- ・その他、ContactXML 仕様の普及・啓蒙活動全般

活動方法

- ・メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催
- ・メンバーによるセミナーの開催、外部セミナーへの参画
- ・メーリングリスト活用による日々の情報交換、Q&A 等
- ・他部会との連携
- ・他関連団体との連携

体制

昨年度(2002 年度)の体制・WG 構成は以下のとおり。
今年度(2003 年度)の体制・WG 構成は次回部会にて協議する。

(1) リーダ・サブリーダー

リーダー	インフォテリア	吉政忠志
サブリーダー	エニイ	竹村直浩
	クレオ	小笠原徳夫

(2) ワーキンググループ構成

(A) ContactXML 標準化推進 WG

リーダー	インフォテリア	吉政忠志
サブリーダー	エニイ	竹村直浩
	クレオ	小笠原徳夫

活動内容:

- (a) ContactXML 仕様の開発・制定・標準化

活動テーマ候補:

- (a) ContactXML 次バージョンの策定

(B) IPACT-WG

リーダー 日本郵政公社 中川真孝

活動内容:

- (a) IPACT の日本国住所適用を研究
- (b) IPACT と ContactXML の整合性研究

活動テーマ候補:

- (a) 検討中

活動成果

- ・ContactXML Version1.1 のリリース
- ・ContactXML API のリリース
- ・ContactXML 仕様のさらなるブラッシュアップ
- ・ContactXML 実装例を増やし、普及に努める

- ・IPACT-WG の設立
- ・ContactXML ユーザー会設立準備支援
- ・HR-XML 等の関連他団体との協調に務め、相互普及に努める

参加資格

ContactXML 仕様の普及を推進するという目的のもとに、XML ビジネスに関わり、かつ XML コンソーシアムに加入している有志法人もしくは団体とする。

スケジュール概要

2002/4 ContactXML Ver.1.1a 発表済み

その他定例会

(6) TravelXML標準化部会 活動要綱

目的

旅行業者、交通機関、宿泊施設、各種サービス機関との間で行われる、取引情報について、業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的とした電子商取引情報のXMLによる標準化提案を目指します。また特にパッケージ旅行商品に関する扱いについてのサポートを第一義の目的として検討します。

活動内容

- ・旅行業業界における商取引についての調査と要件把握
- ・旅行業業界における商取引のXMLによる標準化作成
- ・旅行業業界商取引のXML標準化情報(Travel XML)の普及
 - Webページ等による情報の発信
 - 活用セミナーの企画・開催
 - 実装評価
 - XMLコンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

活動方法

- ・月1回程度の定例ミーティングの実施
- ・商取引に関連する各旅行業者との協力による業界情報収集
- ・メールリスト活用による情報交換、ディスカッション
- ・主幹事メンバによる討議資料・報告書等のドキュメンテーション
- ・他部会、他団体との連携

体制

2003年度の体制・WG構成は以下のとおり。サブリーダー、WGのリーダーについては今後部会で検討予定。

(1) リーダー

リーダー NTTデータ 遠城秀和

(2) ワーキンググループ構成

(A) 標準作成WG

活動内容:

(a) 標準仕様の開発・制定・標準化

(B) 普及・啓蒙WG

活動内容:

(a) TravelXML標準を使った実証実験

(b) セミナー開催等による対外アピール

活動成果予定

- ・旅行業界商取引のXML標準化案
- ・TravelXML標準案の評価・プロトタイプ

参加資格

- ・XMLコンソーシアムの会員で旅行業界商取引の標準化に高い関心を有すること
- ・定例ミーティング又はメールリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

スケジュール概要

- ・2003年2月初旬: JATAと覚え書き締結、報道発表
- ・2003年3月末: 標準化案第1バージョン部会内とりまとめ
- ・2003年5月末: 標準化第1バージョンを勧告案化
- ・2003年6月末: パブリックレビュー
- ・2003年8月初旬: 標準化第1バージョンを勧告化

(7)コンテンツ利用情報標準化部会 活動要綱

目的

著作権者(著作権管理団体も含む)、コンテンツホルダー、配信事業者の間で行われるコンテンツ利用に使われる情報について業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的としたコンテンツ利用情報のXMLによる標準化提案を目指します。

活動内容

- ・コンテンツ利用情報対象業務についての調査と要件把握
- ・コンテンツ利用情報のXMLによる標準化案作成
- ・コンテンツ利用情報XML標準化情報の普及
 - Webページ等による情報の発信
 - 活用セミナーの企画・開催
 - XMLコンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

活動方法

- ・月1回程度の定例ミーティングの実施
- ・コンテンツ利用に関連する業界団体との協力による業界情報収集
- ・メーリングリスト活用による情報交換、ディスカッション
- ・主幹事メンバによる討議資料・報告書等のドキュメンテーション
- ・他部会、他団体との連携

体制

2003年度の体制・WG構成は以下のとおり。サブリーダー、WGのリーダーについては今後部会で検討予定。

(1) リーダ

リーダー NTTデータ 福永博信

(2) ワーキンググループ構成

(A) 標準作成WG

活動内容:

(a) 標準仕様の開発・制定・標準化

(B) 普及・啓蒙WG

活動内容:

(a) コンテンツ利用情報標準を使った実証実験

(b) セミナー開催等による対外アピール

活動成果予定

- ・コンテンツ利用情報のXML標準化案
- ・コンテンツ利用情報標準案の評価・プロトタイプ

参加資格

- ・XMLコンソーシアムの会員でコンテンツ利用情報の活用で主導的なポジションにある著作権者(著作権管理団体も含む)、コンテンツホルダー、配信事業者、システム提供のSI企業、著作権許諾支援ソフト提供企業、その他著作権許諾情報に興味を持つ企業などのコンテンツ利用の商取引の標準化に高い関心を有すること
- ・定例ミーティング又はメーリングリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

スケジュール概要

- ・2003年3月末に最初のドラフト作成
- ・2003年4月末に標準化案第1バージョン部会内とりまとめ
- ・2003年5月に標準化第1バージョンを勧告案化
- ・2003年5月にパブリックレビュー
- ・2003年6月に標準化第1バージョンを勧告化

7. Web サービス推進委員会



Webサービス

- インターネットにおける分散アプリケーション構築用の標準技術フレームワーク
- XML、SOAP、WSDL、UDDI等によるプラットフォーム/言語への非依存性
- XML文書によるA2A連携
- B2B/A2A PnP自動接続の実現
- インターネットでの流通Webサービスの普及によるダイナミックなアプリケーション構築

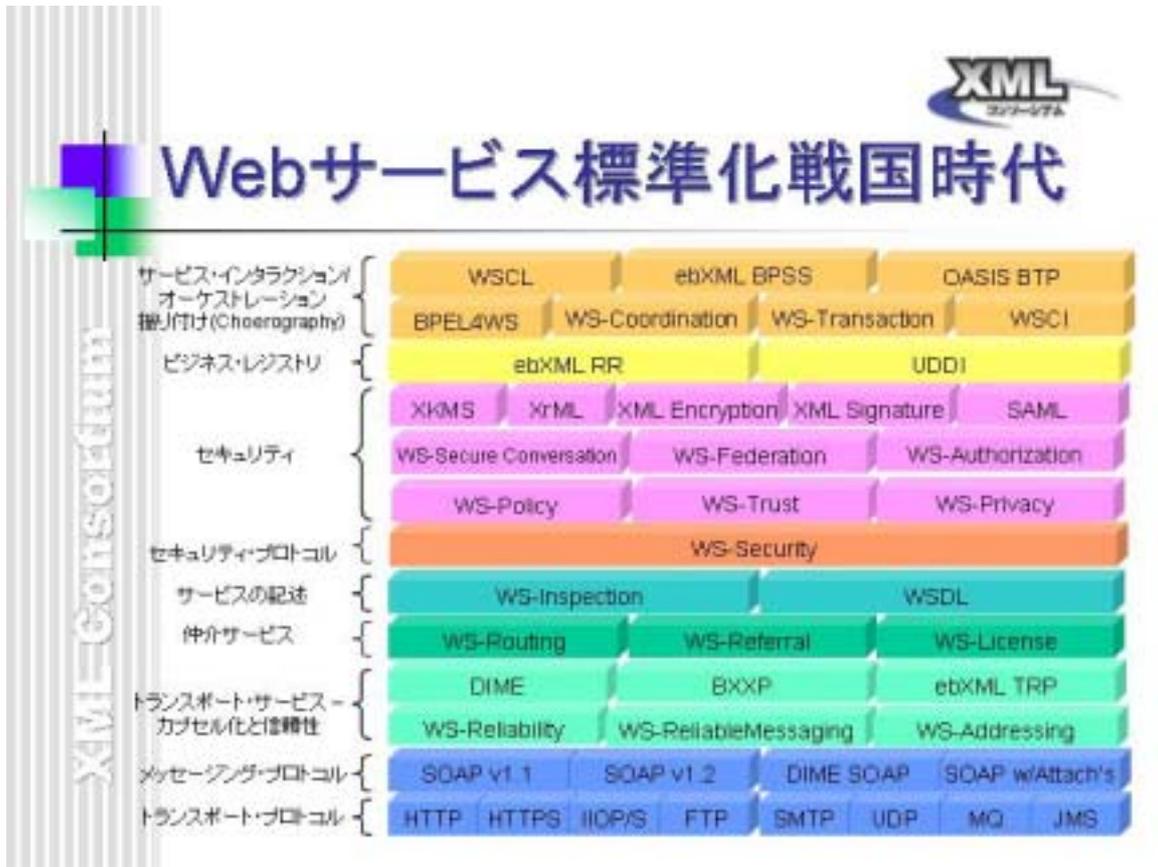
XML Consortium



Webサービスの特徴

非集中管理型 分散アプリケーション	疎結合 (Loosely-coupled) のアプリケーション連携
ビジネス文書レベルの 粗い粒度のメッセージ交換	非同期メッセージ交換

XML Consortium





Webサービス普及の鍵

XML Consortium

- 標準セキュリティ標準
 - WS-Security
- 高信頼性メッセージング
- 複雑なビジネス・トランザクションを意識したWebサービス連携用の振り付け(Choreography)言語
- UDDIの活用
 - Private UDDI
- Webサービスの分散管理(変更管理、依存性管理)



Webサービス普及の予測

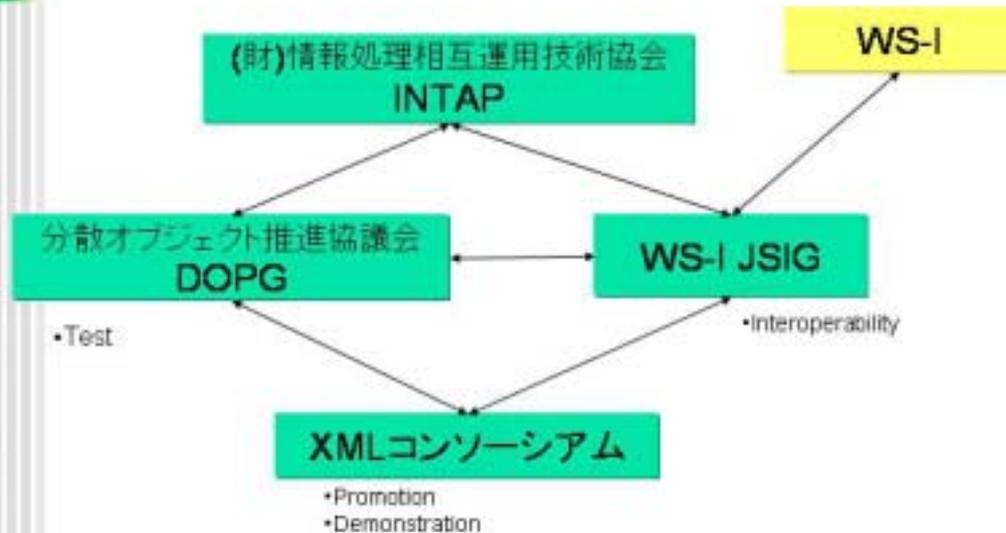
XML Consortium

- 米ガートナー
2006年にアプリケーション構築では、Webサービスの利用が主流と予測
- 米IDC
完全な普及には、あと10年が必要と予測
- 米国XML/Webサービス専門調査分析会社 ZapThink
サービス指向のプロセス・ソリューションの市場は、2003年の1億2千万ドル(144億円)から、2008年までに80億ドル(9,600億円)以上に成長すると予測



日本における推進団体

XML Consortium



Webサービスの普及開始

XML Consortium

- イン트라ネットでのEAI
- 企業PortalソリューションのPortlet
- Google & Amazon.comの商用サービス
- 米国連邦政府の電子政府
- 金融サービス
- Trusted Partner間の電子商取引
- ASPサービスでのバックエンド連携



Webサービス推進委員会

- XMLコンソーシアム 運営委員会傘下の委員会として、コンソーシアムのWebサービス推進啓蒙活動全体をコーディネート
- 2つの小委員会で具体的な活動
 - 技術小委員会
 - マーケティング小委員会
- 基本的に1回/月の定例会議をベースに活動



昨年度の 技術小委員会の活動

- Webサービス技術資料の翻訳、解説書作成
 - コンソーシアムWebサイトに掲載
- Webサービス提供者開発ガイドの作成
 - 代表的な開発ツールの情報収集でテンプレート化作業中
- 国内分類コード/識別コードなどのタクソノミー収集調整
 - 作業実現せず
- インターオペラビリティ検証実験
 - DOPGとの連携と、コンソーシアムの独自活動
 - NewsML、観光情報に関するデモ開発

昨年度の マーケティング小委員会の活動



- ベストプラクティスの推進と収集
 - 2件の事例収集、まだ時期尚早であった
- 他標準化団体との連携
 - ECOM、ロゼッタネット等との連携模索中
- 業界に対するセミナー・イベントの企画実行
 - 石油業界、日本旅行業界(JATA)、日本観光協会、日本電子出版協会(JEPA)
 - TravelXMLの標準化開始
 - 観光情報を使用した総合デモ
- 広報
 - 委員会の活動をプレス発表

本年度の 委員会活動骨子



- 他の業界団体と連携し、Webサービスの推進啓蒙及び標準化の推進を図る
 - IT業界とユーザ業界
- Webサービスでのアプリケーション連携のための上位レイヤ標準化の調査研究
 - アプリケーション連携に必要な標準化
- Webサービスの理解を促進する各社共同デモンストレーションの開発
 - インターオペラビリティテストを効率よく兼ねる

本年度の 技術小委員会の活動



- Webサービス技術資料の翻訳、解説書作成
 - 昨年度開発分のアップデート
- Webサービス提供者開発ガイドの作成
 - 昨年度に続き、各社の開発ツールで完成
- 上位レイヤ標準化の調査研究
 - アプリケーション連携に必要な上位レイヤの標準化研究
- デモンストレーションの構築
 - インターオペラビリティ・テストを兼ねる

参加企業の拡大



昨年度まで、理事会社からのみ参加可能
2003年度は、会員企業の中から自由に参加可能とする
但し、企業としてWebサービスの普及啓蒙にコミットし、積極的に活動に参加する企業のみとする

本年度の 技術小委員会の活動



- Webサービス技術資料の翻訳、解説書作成
 - 昨年度開発分のアップデート
- Webサービス提供者開発ガイドの作成
 - 昨年度に続き、各社の開発ツールで完成
- 上位レイヤ標準化の調査研究
 - アプリケーション連携に必要な上位レイヤの標準化研究
- デモンストレーションの構築
 - インターオペラビリティ・テストを兼ねる

本年度の マーケティング小委員会の活動



- Webサービス情報Webサイトの構築
 - 標準、事例、各社ツールへのリンク等
- 他標準化団体との連携
 - 引き続き、ECOM、ロゼッタネット、流開センター、OASIS等との連携模索
- 他業界に対する推進啓蒙
 - Webサービスに興味の強い業界に対して、Webサービスの推進啓蒙活動
 - XMLによる業界標準開発は、標準化推進委員会と連携

8. 標準化推進委員会活動計画

標準化推進委員会活動計画

1. 背景

XMLが普及期を向かえ、多数の標準が作成されて来ています。しかし基盤的な標準が多く、まだまだ応用面の標準が不足しています。

現在XMLコンソーシアムでは、ContactXML標準化部会、TravelXML標準化部会、コンテンツ利用情報標準化部会が標準作成の活動を鋭意行っておりますが、まだ標準化作成の活動は不足していると考えています。標準化の作成活動が活性化しない一つの原因として標準作成の手順等の方法があまり知られていないことがあると考えています。

そこで標準作成を支援・普及・啓蒙をすることを目指して標準化推進委員会を設立し、活動を開始しました。

2. 方針

標準作成の促進を支援・普及・啓蒙をするために標準化推進委員会では以下の方針で検討および活動を進めます。

(1)XMLコンソーシアムの期間延長後における体制も含めてXMLコンソーシアム全体としての支援方法を検討します。

(2)標準作成の活動主体である各標準化部会の当面の支援方法も検討します。

(3)運営委員会の各種活動と連携して当面の施策を実施します。

3. 体制

運営委員有志による準備会にて委員会の構成を検討中。今後委員を募集する予定。

4. 具体的活動

4.1 一年後の体制検討

XMLコンソーシアムの期間延長である一年経過後における体制として、標準の維持、メンテナンスの視点から望ましい形態を提言する。

4.2 標準作成の支援基盤整備

(1)情報発信支援

標準化に伴って発生する下記等の情報発信に関するガイドラインを作成し、各標準化部会の活動を支援する。

- ・メーリングリスト等の部会内意見交換の場の提供
- ・ドラフト等の部会内資料交換の場の提供
- ・成果物(標準)の公開配布
- ・NamespaceやURI等の設定

(2)タクソノミー・用語の収集調整

各標準化部会の標準作成を支援するためWebサービス推進委員会技術小委員会と協力し下記作業を企画・実施するとともに作業結果を発信する。

- ・既存標準を活用するための国内分類コード/識別コードなどのタクソノミー収集
- ・各標準で用いられているボキャブラリの標準間共通化

(3)標準化作業支援

標準化活動の促進を図るために標準化作業に関する下記等の規約やガイドラインを作成し、各標準化部会の立ち上げを会員等に働きかけるとともに活動作業の支援をする。

- ・標準化部会設立におけるアライアンスの標準覚書
- ・知的財産権のガイドライン
- ・標準化プロセスの改善

4.3 標準化活動の普及・啓蒙

運営委員会やWebサービス推進委員会の各グループと連携しつつ標準化支援策を実施します。

標準化活動支援を利用して標準を作成する活動を活発化させるために、会員企業や他の業界団体などに対してセミナー等による対外アピールを行い、標準作成活動の普及・啓蒙を行います。

10. 会員会社一覧 (2003年5月6日現在 会社名・五十音順)

項番	会社名 / 入会部署
1	株式会社アークインターナショナル
2	株式会社アイ・ティ・フロンティア
3	ITエンジニアリング株式会社
4	株式会社IDGジャパン / ワールドエキスポ事業部
5	株式会社アイフィスジャパン
6	株式会社アイフォー / 開発部
7	株式会社アクセスネット
8	株式会社アグレックス
9	亜細亜証券印刷株式会社
10	アシストマイクロ株式会社
11	アットインフィニティ株式会社
12	株式会社アドイン研究所
13	株式会社アドス
14	アブリソ・ジャパン株式会社
15	株式会社アプレッソ
16	株式会社アラン / 戦略開発室
17	株式会社アルファシステムズ / 技術推進室
18	株式会社アレフ・ビジネス・システムズ
19	イースト株式会社 / コミュニケーション事業部
20	伊藤忠産機 / ソリューションシステム部
21	伊藤忠テクノサイエンス株式会社 / システム技術本部 Webテクノロジーセンター
22	伊藤忠テクノサイエンス株式会社 / エンタープライズシステム推進本部 エンタープライズシステム技術部
23	茨城日立情報サービス株式会社
24	インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス株式会社
25	インフォテリア株式会社
26	インプレス
27	ウェブソフト・インターナショナル株式会社
28	ウェブテクノロジー株式会社
29	ウルシステムズ
30	株式会社エイアンドティー / 生産技術センター LISカスタマイズグループ
31	株式会社エイチ・オー・エス
32	株式会社永和システムマネジメント
33	株式会社エーエスピージェーピー
34	株式会社エクサ
35	株式会社エニイ
36	NECシステムテクノロジー(株) / システムソフトウェア事業部
37	NECソフト株式会社
38	NECネクサソリューションズ株式会社 / ソリューション技術本部
39	NECメディアプロダクツ株式会社
40	NTTアイティ株式会社 / CTソリューション事業部
41	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ / MM事業本部MM企画部ITS事業推進室
42	エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ株式会社
43	NTTコムウェア株式会社
44	NTTソフトウェア株式会社
45	株式会社NTTデータ / 開発本部ビジネスモデル開発部
46	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海 / ビジネス事業本部 開発部
47	株式会社エヌビーシーシステムドットコム
48	エプソンコーワ株式会社
49	株式会社MITシステム研究所
50	株式会社エム・ソフト
51	株式会社 エムティーアイ / IT事業部
52	株式会社エルザ
53	株式会社オージス総研 / eソリューション事業部
54	株式会社大塚商会
55	有限会社オオツカ商事
56	沖電気工業株式会社
57	株式会社オプティマ
58	オムロン株式会社 / CMAプロジェクト
59	オメガシステムデザイン
60	株式会社開発計算センター

項番	会社名 / 入会部署
61	川鉄情報システム株式会社
62	株式会社紀伊國屋書店 / 出版部
63	キヤノン株式会社 / プラットフォーム技術開発本部 プラットフォーム技術開発センター
64	キヤノンシステムソリューションズ株式会社 / ソフトウェアプロダクト部
65	共同印刷株式会社
66	(社)共同通信社
67	株式会社クリックス
68	株式会社クレオ / プロダクトサービス事業部
69	株式会社クレスコ
70	株式会社国際マイクロ写真工業社 / デジタルシステム部
71	コベルコシステム株式会社
72	コンパックコンピュータ株式会社
73	サイバネットシステム株式会社
74	サンネット株式会社
75	株式会社産能コンサルティング
76	サン・マイクロシステムズ株式会社
77	株式会社サンモアテック
78	株式会社CRCソリューションズ / 情報技術統轄部
79	シーアイエス株式会社 / エンタープライズ・ソリューション本部 KnowledgeSolution
80	有限会社シーこむ
81	株式会社ジェイ・アイ・エム
82	株式会社ジェー・アイ・イー・シー
83	(株)時事通信社
84	株式会社システムサイエンス研究所
85	システムポート株式会社
86	株式会社シナジー・インキュベート
87	株式会社ジャステック
88	株式会社ジャストシステム
89	昌栄印刷株式会社
90	有限会社翔コピーセンター
91	情報技術開発株式会社
92	株式会社シンクプラン
93	信興テクノミスト
94	スカイ・シンク・システム株式会社
95	株式会社スパイナルコード
96	住商情報システム株式会社
97	住友セメントシステム開発株式会社 / PS開発グループ
98	スリーエープランニング株式会社
99	セイコーエプソン株式会社
100	セイコープレジジョン株式会社 / システム事業部
101	株式会社セゾン情報システムズ
102	株式会社セック
103	総合オフィスサポート株式会社
104	ソレキア株式会社
105	株式会社タジマ
106	株式会社タスカ
107	蝶理情報システム株式会社
108	株式会社都築ソフトウェア / 総合技術部
109	都築電気株式会社 / ITソリューション支援部
110	翼システム株式会社 / 情報企画事業部
111	TIS株式会社
112	D&I情報システム株式会社
113	株式会社ティージー情報ネットワーク
114	ティーディーシーソフトウェアエンジニアリング株式会社
115	デイツーイーーツ株式会社 / コーポレートスタッフ
116	(株)データ通信システム
117	データディレクトテクノロジー株式会社
118	テクマトリックス株式会社
119	株式会社デジタルコミュニケーションズ
120	株式会社 電通国際情報サービス
121	テンプスタッフ・テクノロジー株式会社
122	株式会社東芝 / e-ソリューション社
123	東芝ITソリューション株式会社 / 共通ソリューション第四部
124	東芝情報システム株式会社
125	東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
126	ドコモ・システムズ株式会社
127	図書印刷株式会社
128	凸版印刷株式会社 / Eビジネス推進本部IT開発部
129	トッパン・フォームズ株式会社 / 中央研究所IT技術グループ
130	株式会社トッパン・マルチソフト

項番	会社名 / 入会部署
131	株式会社富山富士通 / 事業推進統括部
132	株式会社ニコラテスラ
133	日外アソシエーツ株式会社
134	株式会社ニックス
135	日進ソフトウェア
136	日新電機株式会社
137	日本システムウェア株式会社
138	日本情報通信株式会社
139	日本テレコム株式会社
140	日本電気システム建設株式会社
141	日本アイオナテクノロジー株式会社
142	日本アイ・ピー・エム株式会社
143	日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社
144	日本アバイア株式会社
145	日本エクセロン株式会社
146	日本オラル株式会社
147	日本銀行
148	日本経済新聞社
149	株式会社日本事務サービス / システム開発部
150	日本情報通信コンサルティング株式会社
151	日本電気株式会社
152	日本BEAシステムズ株式会社
153	日本ビジネスコンピューター株式会社 / 先進技術開発
154	日本ヒューレット・パッカード株式会社
155	日本ユニシス株式会社
156	日本ユニシス・ソフトウェア株式会社
157	日本ライセンスバンク / リナックスアカデミー
158	ニュアンス・コミュニケーションズ株式会社
159	ネクストソリューション株式会社
160	ネットセンチュリー株式会社
161	株式会社ネット・タイム
162	ノベル株式会社
163	株式会社野村総合研究所
164	パシフィックシステム株式会社 / 先進システム部
165	株式会社発明通信社
166	パナソニックコミュニケーションズ株式会社
167	パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社 / 技術本部R&Dセンター
168	株式会社PFU / 第一システム統括部
169	PFUアクティブラボ株式会社
170	株式会社ビーコンIT
171	ビーコンシステム株式会社
172	日立INSソフトウェア株式会社
173	日立インターメディアックス株式会社
174	株式会社日立インフォメーションアカデミー / ソフト研修センタ
175	株式会社日立エイチ・ピー・エム
176	日立公共システムエンジニアリング株式会社
177	株式会社日立システムアンドサービス
178	株式会社日立製作所
179	日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
180	株式会社 日立ハイテクノロジー / 設計・製造統括本部那珂事業所
181	日立ハイブリッドネットワーク株式会社
182	日立ビジネスソリューション株式会社
183	ヒューレット・パッカード・ソリューションデリバリー(株)
184	広島商船高等専門学校 / マルチメディア時代の新しい教育研究会
185	株式会社フィオシス
186	富士インフォックス・ネット株式会社
187	フジオーネ・テクノ・ソリューションズ株式会社 / ITソリューション事業本部
188	株式会社フジシステムズ
189	富士写真フイルム株式会社
190	富士ゼロックス株式会社
191	富士ゼロックス情報システム株式会社
192	富士ソフトABC株式会社
193	富士通株式会社 / ソフトウェア事業本部 プロジェクトA - XML
194	富士通エフ・アイ・ピー株式会社
195	富士通オフィス機器株式会社
196	株式会社富士通研究所
197	株式会社富士通ラーニングメディア
198	富士電機株式会社
199	株式会社フジミック
200	株式会社フライトシステムコンサルティング

項番	会社名 / 入会部署
201	株式会社プリズム
202	株式会社ブレインワークス
203	ブレインセラーズ・ドットコム株式会社
204	ベイシス・テクノロジー株式会社
205	有限会社ベネスト
206	法規書籍印刷株式会社
207	PolarLake Ltd.
208	株式会社ホンヤク出版社
209	マイクロソフト株式会社
210	マイクロソフト プロダクト ディベロップメント リミテッド
211	マップジャパン株式会社 / 旅行システム事業部
212	三井情報開発株式会社
213	三井物産株式会社
214	三菱電機エンジニアリング株式会社 / ドキュメント事業部クリエイティブセンター
215	三菱電機株式会社
216	ミノルタ株式会社
217	ミリオン株式会社
218	株式会社メディアフュージョン
219	弥生株式会社 / 開発本部
220	ユニコテクノス株式会社 / ビジネスインテリジェンス事業部
221	横河電機株式会社 / R&D IT PJTセンター
222	株式会社リコー
223	リコーシステム開発株式会社
224	リコーテクノシステムズ株式会社
225	理想科学工業株式会社 / S&A開発センター
226	株式会社リョーイン
227	株式会社ワイ・エス・ピー
特別会員	
228	郵政事業庁 / 郵務部運行課
入会申請中	
1	富士電機情報サービス株式会社

XML コンソーシアム事務局

〒130-0022

東京都墨田区江東橋 2-19-7 富士ソフト ABC ビル

e Mail:xmlcons@fsi.co.jp

Tel:03-5600-6205